

工 事 設 計 書

所 属 部 課 名		建設部 道路維持課							
部長	審議監	課長	補佐	主幹	主査	班	班	設計者	設計審査
工事名		小金原橋補修工事							
工事場所		松戸市小金原字六丁目地先							
事 業 年 度		令和 8 年度							
工事価格		円							
請負工事費計		円							

<p>設 計 説 明</p>	<p> 小金原橋 断面補修工 . . . 一式 橋梁付属物工 . . . 一式 袖壁補修工 . . . 一式 仮設工 . . . 一式 ※週休二日制適用工事 </p>
----------------------------	---

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		断面補修工		式	1			第 1 号内訳書参照 @U001
		橋梁付属物工		式	1			第 2 号内訳書参照 @U003
		袖壁補修工		式	1			第 3 号内訳書参照 @U002
		舗装工		式	1			第 4 号内訳書参照 @U006
		附帯工		式	1			第 5 号内訳書参照 @U007
		仮設工		式	1			第 6 号内訳書参照 @U004
	直接工事費計			式	1			++P
		共通仮設費		式	1			!0BKr
		技術管理費		式	1			第 7 号内訳書参照 @U005
		共通仮設費計		式	1			+3K
	純工事費			式	1			++J

本 工 事 内 訳 書

2 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		現場管理費		式	1			!0BJo
	工事原価			式	1			++G
		一般管理費等		式	1			!90Gp
		スクラップ控除		式	1			第 8 号内訳書参照 @U008
	工事価格			式	1			++T
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			%S10
工事費計				式	1			++U

第 1 号 内訳書 断面補修工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
断面修復工		式	1			第 1 号単価表参照 V0001&80
ひびわれ補修工		式	1			第 2 号単価表参照 V0002&80
剥落防止工	高分子系浸透性防水材、下部工含む	式	1			第 3 号単価表参照 V0005&80
計						

第 2 号 内訳書 橋梁付属物工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高欄撤去		m	35			第 4 号単価表参照 SCB224910-J01&80
現場発生品及び支給品運搬	高欄	t	0.9			第 5 号単価表参照 SCB010410-J01&80*
アルミ製防護柵設置工	C種 H = 770	m	34.6			第 6 号単価表参照 V0011&80
計						

第 3 号 内訳書 袖壁補修工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし		m3	1			第 7 号単価表参照 SWB24010-J01&80*
コンクリート廃材処分工	有筋	m3	1			第 8 号単価表参照 V0014&80
鉄筋工 組立		t	0.04			第 9 号単価表参照 SWB240752-J01&80
鉄筋工 組立		t	0.06			第 10 号単価表参照 SWB240752-J02&80
型枠		m2	9.5			第 11 号単価表参照 SCB240210-J01&80
ケミカルアンカー		個	76			2026/09/01 W0002
モルタル練		m3	0.58			第 12 号単価表参照 SCB240060-J01&80
コンクリート		m3	0.87			第 13 号単価表参照 SCB240010-J01&80
計						

第 4 号内訳書 舗装工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断		m	30			第 14 号単価表参照 SCB430510-J01&80
舗装版切断排水処分工		m ³	0.08			第 15 号単価表参照 V0016&80
直接掘削積込		m ²	90			第 16 号単価表参照 SWB430610-J01&80
路盤廃材運搬・処分工		m ³	23			第 17 号単価表参照 V0017&80
As廃材運搬・処分工		m ³	16			第 18 号単価表参照 V0018&80
不陸整正（急速施工）		m ²	90			第 19 号単価表参照 SWB430630-J01&80*
上層路盤工（急速施工）	RM-30 t=250	m ²	90			第 20 号単価表参照 SWB430640-J01&80*
基層工（急速施工）	再生粗粒度アスコン（20）t=50	m ²	90			第 21 号単価表参照 SWB430650-J01&80*
表層工	改質Ⅱ型再生密粒度アスコン（20）t=50 PK-4	m ²	90			第 22 号単価表参照 SCB410260-J01&80*
計						

第 5 号 内訳書 附帯工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	実線（白） W=15cm	m	50			第 23 号単価表参照 SWB821210-J01&80*
区画線設置	実線（黄） W=15cm	m	25			第 24 号単価表参照 SWB821210-J02&80*
計						

第 6 号内訳書 仮設工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場・防護		m2	14.5			第 25 号単価表参照 SCB431740-J01&80
交通誘導警備員 B		人日	107			第 26 号単価表参照 SWB010212-J01
計						

第 7 号 内訳書 技術管理費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋探査工		m2	13			第 27 号単価表参照 V0012
計						

第 8 号 内訳書 スクラップ控除

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スクラップ	へビーH2	t	-0.9			TY006400000
計						

第 1 号 単価表

断面修復工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
断面修復工（左官工法）		構造物	1			第 28 号単価表参照 SWB229210-J01&80*
コンクリート廃材運搬・処分工	無筋 人力積込	m ³	0.16			第 29 号単価表参照 V0015&80
計	1 式 当り					

第 2 号 単価表

ひびわれ補修工

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ひび割れ補修工（低圧注入工法）		構造物	1			第 30 号単価表参照 SWB229110-J01&80
計	1 式 当り					

第 3 号 単価表

剥落防止工

高分子系浸透性防水材、下部工含む

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理工	高所作業車11m未満	m ²	272.3			第 31 号単価表参照 V0013&80
下塗工		m ²	272.3			第 32 号単価表参照 V0006&80
中塗り＋メッシュ貼付け＋上塗り工		m ²	272.3			第 33 号単価表参照 V0008&80
計	1 式 当り					

第 4 号 単価表 高欄撤去 1 m 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
トラック [クレーン装置付]	通称 4 ～ 4. 5 t 積級 吊能力 2. 9 t	%	K1			MM000302013
労務構成比		%	R			/H
溶接工		%	R1			RR0113
特殊作業員		%	R2			RR0101
土木一般世話役		%	R3			RR0125
運転手（特殊）		%	R4			RR0114
材料構成比		%	Z			/H
軽油		%	Z1			TZ006702002
	1 m 当り					

第 5 号 単価表 現場発生品及び支給品運搬 高欄 1 t 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
トラック [クレーン装置付]	通称 2 t 積級 吊能力 2 . 9 t	%	K1			MM000302010
労務構成比		%	R			/H
運転手（特殊）		%	R1			RR0114
特殊作業員		%	R2			RR0101
材料構成比		%	Z			/H
軽油		%	Z1			TZ006702002
	1 t 当り					

SCB010410

J01 トラック機種 = 1 クレーン装置付通称2t積級吊能力2.9t J02 DID区間の有無 = 2 有り

J04 片道運搬距離 (km) DID有 = 4 7.0km以下

第 6 号 単価表

アルミ製防護柵設置工

C種 H = 770

50 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高欄兼車両防護柵		m	50			特別調査 W0003
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
普通作業員		人				RR0102
諸雑費		式	1			#09
計	50 m 当り					
	1 m 当り					

第 7 号 単価表

構造物とりこわし

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物	昼間 機械施工 制約受ける	m3	1			TQ001611009
諸雑費（まるめ）		式	1			#99
計	1 m3 当り					

SWB824010

J01 構造物区分 = 2鉄筋構造物

J03 時間的制約の有無 = 2有り

J05 低騒音・低振動対策 = 1必要

J02 工法区分 = 1

J04 夜間作業の有無 = 1機械施工無し

第 8 号 単価表

コンクリート廃材処分工

有筋

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋ＣＯ処分費	東葛飾	t	2.5			TZ901147040
殻運搬		m3	1			第 34 号単価表参照 SCB210110-J01&80*
計	1 m3 当り					

第 9 号 単価表

鉄筋工 組立

1 t 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				RR0125
鉄筋工		人				RR0110
普通作業員		人				RR0102
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	最大吊上能力 2 5 t 吊	日				ML001130006
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			#09
計	1 t 当り					

SWB240752

J01 組立区分 = 1

J03 ラフテレーンクレーン賃料補正係数 = 1

一般構造物標準

J02 鉄筋材料規格・径 = 5

SD345 D13

第 10 号 単価表

鉄筋工 組立

1 t 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				RR0125
鉄筋工		人				RR0110
普通作業員		人				RR0102
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	最大吊上能力 2 5 t 吊	日				ML001130006
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			#09
計	1 t 当り					

SWB240752

J01 組立区分 = 1
J03 ラフテレーンクレーン賃料補正係数 = 1

一般構造物
標準

J02 鉄筋材料規格・径 = 6

SD345 D16～D25

第 11 号 単価表 型枠 1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R			/H
型わく工		%	R1			RR0133
普通作業員		%	R2			RR0102
土木一般世話役		%	R3			RR0125
	1 m2 当り					

SCB240210

J01 型枠の種類 = 1

一般型枠

J02 構造物の種類 = 1

鉄筋・無筋構造物

第 12 号 単価表 モルタル練 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R			/H
普通作業員		%	R1			RR0102
土木一般世話役		%	R2			RR0125
材料構成比		%	Z			/H
セメント（普通ポルトランド）	2 5 k g 袋入	%	Z1			TZ002002006
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	%	Z2			TZ002104002
	1 m3 当り					

SCB240060
J01 セメント種類 = 1 普通 J02 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 13 号 単価表

コンクリート

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
バックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付き]	バケット容量0. 8 m 3 吊能力2. 9 t 吊	%	K1			ML001010004
労務構成比		%	R			/H
特殊作業員		%	R1			RR0101
普通作業員		%	R2			RR0102
土木一般世話役		%	R3			RR0125
運転手 (特殊)		%	R4			RR0114
材料構成比		%	Z			/H
生コンクリート	1 8 - 8 - 2 5 (2 0) 高炉 W/C60%以下	%	Z1			TZ002012001
軽油		%	Z2			TZ006702002

第 13 号 単価表

コンクリート

1 m3 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 1

J03 コンクリート規格 = 41

J13 費用の内訳 = 1

無筋・鉄筋構造物

18-8-25 (高炉)

全ての費用

J02 打設工法 = 3

J05 養生工の種類 = 2

バックホウ (クレーン機能付) 打設

一般養生

第 14 号 単価表

舗装版切断

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
コンクリートカッタ[ハキューム式(超低騒音型)・湿式]	エンジン駆動 通称切削深30cm級プレート 径φ75cm	%	K1			MM001161011
労務構成比		%	R			/H
特殊作業員		%	R1			RR0101
土木一般世話役		%	R2			RR0125
普通作業員		%	R3			RR0102
材料構成比		%	Z			/H
コンクリートカッタ (プレート)	径30インチ	%	Z1			TZ006540005
コンクリートカッタ (プレート)	径22インチ	%	Z2			TZ006540003
コンクリートカッタ (プレート)	径14インチ	%	Z3			TZ006540008

第 14 号 単価表

舗装版切断

1 m 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
ガソリン	レギュラー	%	Z4			TZ006704001
	1 m 当り					

SCB430510

J01 舗装版種別 = 1

J05 費用の内訳 = 1

アスファルト舗装版
全ての費用

J02 アスファルト舗装版厚 = 2

15cmを超え30cm以下

第 15 号 単価表

舗装版切断排水処分工

1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
汚泥及び廃アルカリ処分費		kg	1,130			AF70020
汚泥運搬		m3	1			第 35 号単価表参照 SCB210110-J02&80*
計	1 m ³ 当り					

第 16 号 単価表

直接掘削積込

100 m2 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
普通作業員		人				RR0102
バックホウ運転		日				第 36 号単価表参照 SWK430110-J01&80
諸雑費（率＋まるめ）		式	1			#09
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB430610

J01 打換え区分 = 2

J03 すりつけ作業の有無 = 1

舗装版のみの打換え有

J02 掘削深さ = 2

40cmを超え80cm以下

第 17 号 単価表

路盤廃材運搬・処分工

1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤廃材処分費	東葛飾	t	2.04			TZ901143040
土砂等運搬		m ³	1			第 37 号単価表参照 SCB210110-J03&80
計	1 m ³ 当り					

第 18 号 単価表

As廃材運搬・処分工

1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
A S 廃材処分費	東葛飾	t	2.35			TZ901145040
殻運搬		m ³	1			第 38 号単価表参照 SCB227010-J01&80
計	1 m ³ 当り					

第 19 号 単価表

不陸整正（急速施工）

100 m2 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
普通作業員		人				RR0102
小型バックホウ運転		日				第 39 号単価表参照 SWK430540-J01&80
タイヤローラ運転		日				第 40 号単価表参照 SWK430150-J01&80
振動ローラ運転		日				第 41 号単価表参照 SWK430550-J01&80
諸雑費（率＋まるめ）		式	1			#09
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB430630

J01 総施工量 = 1

J03 すりつけ作業の有無 = 1

1000m2未満有

J02 打換え区分 = 2

舗装版のみの打換え

第 20 号 単価表

上層路盤工（急速施工）

RM-30 t=250

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
普通作業員		人				RR0102
再生粒度調整碎石	RM30～0	m3	31.75			100*(250/1000)*(1+0.27) AF60003
小型バックホウ運転		日				第 39 号単価表参照 SWK430540-J01&80
タイヤローラ運転		日				第 40 号単価表参照 SWK430150-J01&80
振動ローラ運転		日				第 41 号単価表参照 SWK430550-J01&80
諸雑費（率＋まるめ）		式	1			#09
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB430640

J01 総施工量 = 1

J03 層数（実数入力）[層] = 1

J05 路盤材の種類 = 9

J07 すりつけ作業の有無 = 1

1000m2未満

路盤材（各種）有

J02 打換え区分 = 2

J04 路盤厚さ（実数入力）[mm] = 250

J06 路盤材のロス率（実数入力） = 0.27

舗装版のみの打換え

第 21 号 単価表		基層工（急速施工）		再生粗粒度アスコン（20） t=50		100 m2 当り
名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
普通作業員		人				RR0102
再生アスファルト混合物	再生粗粒度アスコン（20）	t	12.573			100*(50/1000)*2.35*1.07 TZ004101002
タイヤローラ運転		日				第 40 号単価表参照 SWK430150-J01&80
振動ローラ運転		日				第 41 号単価表参照 SWK430550-J01&80
アスファルトフィニッシャ運転	（ホイール型）	日				第 42 号単価表参照 SWK430170-J01&80
諸雑費（率＋まるめ）		式	1			#09
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB430650

J01 総施工量 = 1
J03 舗装材の種類 = 9
J06 舗装厚さ（実数入力）[mm] = 50

100m2未満
再生粗粒度アスコン（20）

J02 打換え区分 = 2
J05 層数（実数入力）[層] = 1
J07 すりつけ作業の有無 = 1

舗装版のみの打換え
有

第 22 号 単価表

表層工

改質Ⅱ型再生密粒度アスコン (20) t=50 PK-4

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅 2. 3～6. 0 m	%	K1			ML001210002
タイヤローラ [普通型]	運転質量 1 3～1 4 t	%	K2			ML001060004
ロードローラ [マカダム]	運転質量 1 0～1 2 t	%	K3			ML001050002
労務構成比		%	R			/H
普通作業員		%	R1			RR0102
運転手 (特殊)		%	R2			RR0114
特殊作業員		%	R3			RR0101
土木一般世話役		%	R4			RR0125
材料構成比		%	Z			/H

第 22 号 単価表

表層工

改質Ⅱ型再生密粒度アスコン (20) t=50 PK-4

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
アスファルト合材	改質Ⅱ型 再生密粒度アスコン 2 0	%	Z1			TZ004104004
アスファルト乳剤	P K - 4 タックコート用	%	Z2			TZ004130003
軽油		%	Z3			TZ006702002
	1 m2 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 4

J05 材料 = 35

J07 費用の内訳 = 1

3.0m超

各種 (2.30以上2.40t/m3未満)

全ての費用

J04 1層当平均仕上厚 70mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 1

タックコート PK-4

第 23 号 単価表

区画線設置

実線（白）W=15cm

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式） 昼間	豪雪無 実線15cm 制約受ける	m	1,000			TQ001036002
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ15～18 白	kg	570			TZ004350001
ガラスビーズ	0.106～0.850mm	kg	25			TZ004352001
接着用プライマー	区画線用	kg	25			TZ004354001
軽油		L	47			TZ006702002
諸雑費（率+まるめ）		式	1			#09
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 1 無し
 J03 豪雪補正の有無 = 1 無し
 J05 時間的制約の有無 = 2 有り
 J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し
 J09 溶融式塗料規格 = 1 含有量15～18%
 J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1 溶融式手動
 J04 規格・仕様区分 = 1 実線 15cm
 J06 塗布厚 = 1 1.5mm
 J08 未供用区間の場合の補正 = 1 無し
 J11 塗料区分 = 1 白
 J13 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 24 号 単価表

区画線設置

実線（黄）W=15cm

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式） 昼間	豪雪無 実線15cm 制約受ける	m	1,000			TQ001036002
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ15~18 黄 鉛・フリー	kg	570			TZ004350009
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	25			TZ004352001
接着用プライマー	区画線用	kg	25			TZ004354001
軽油		L	47			TZ006702002
諸雑費（率+まるめ）		式	1			#09
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 1 無し
J03 豪雪補正の有無 = 1 無し
J05 時間的制約の有無 = 2 有り
J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し
J09 溶融式塗料規格 = 1 含有量15~18%
J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1 溶融式手動
J04 規格・仕様区分 = 1 実線 15cm
J06 塗布厚 = 1 1.5mm
J08 未供用区間の場合の補正 = 1 無し
J11 塗料区分 = 2 黄 鉛・クロムフリー
J13 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 25 号 単価表 足場・防護 1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R			/H
橋りょう特殊工		%	R1			RR0122
	1 m2 当り					

SCB431740

J01 防護種類 = 2 シート+板張

J02 1工事での足場使用回数 = 1 1回

J03 足場を架設している総月数 = 1 0.5月以下

第 26 号 単価表

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				RR0804
諸雑費（まるめ）		式	1			#99
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 27 号 単価表

鉄筋探査工

13 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
技師（A）		人				RR0403
技師（B）		人				RR0404
技師（C）		人				RR0405
諸雑費		式	1			#00
計	13 m2 当り					
	1 m2 当り					

第 28 号 単価表

断面修復工（左官工法）

1 構造物 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
普通作業員		人				RR0102
ポリマーセメントモルタル		m3	0.189			0.16*(1+0.18) TY000222000
諸雑費（率＋まるめ）		式	1			#09
計	1 構造物 当り					

SWB229210

J01 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無 = 1 有り

J03 1 構造物当り修復延べ体積（実数）[m3] = 0.16

J02 1 構造物当り修復延べ体積区分 = 2 0.1m3を超える

第 29 号 単価表

コンクリート廃材運搬・処分工

無筋 人力積込

1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋 C o 処分費	東葛飾	t	2.35			TZ901146040
コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）		m3	1			第 43 号単価表参照 SWB229220-J01&80
計	1 m ³ 当り					

第 30 号 単価表

ひび割れ補修工（低圧注入工法）

1 構造物 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
普通作業員		人				RR0102
注入材		kg	0.26			TY001633001
シーリング材		kg	0.685			0.5*(1+0.37) TY001670000
低圧注入器具		個	26			TY001626001
諸雑費（率＋まるめ）		式	1			#09
計	1 構造物 当り					

SWB229110

J01 1 構造物当り補修延べ延長区分 = 1 25m以下

J04 1 構造物当りシーリング材設計量（実数）[kg] = 0.5

J03 1 構造物当り注入材使用量（実数）[kg] = 0.26

J05 1 構造物当低圧注入器具使用量（実[個]）= 26

第 31 号 単価表

下地処理工

高所作業車11m未満

100 m² 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
高所作業車運転	トラック架装リフト、作業床高さ8～10m	日				第 44 号単価表参照 V0007&80
諸雑費		式	1			#09
計	100 m ² 当り					
	1 m ² 当り					

第 32 号 単価表

下塗工

100 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
普通作業員		人				RR0102
高所作業車運転	トラック架装リフト、作業床高さ8～10m	日				第 44 号単価表参照 V0007&80
材料費		t	4			W0001
諸雑費		式	1			#09
計	100 m ² 当り					
	1 m ² 当り					

第 33 号 単価表

中塗り+メッシュ貼付け+上塗り工

100 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
普通作業員		人				RR0102
高所作業車運転	トラック架装リフト、作業床高さ8～10m	日				第 44 号単価表参照 V0007&80
材料費		t	4			W0001
諸雑費		式	1			#09
計	100 m ² 当り					
	1 m ² 当り					

※施工パッケージ単価
SCB210110-J01&80*

第 34 号 単価表 殻運搬 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	通称 2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			MM000301001
労務構成比		%	R			/H
運転手 (一般)		%	R1			RR0115
材料構成比		%	Z			/H
軽油		%	Z1			TZ006702002
	1 m3 当り					

SCB210110
J01 土砂等発生現場 = 3 現場制約あり
J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 10 8.0km以下

J02 積込機種・規格 = 7 人力
J04 DID区間の有無 = 2 有り

第 35 号 単価表 汚泥運搬 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	通称 2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			MM000301001
労務構成比		%	R			/H
運転手 (一般)		%	R1			RR0115
材料構成比		%	Z			/H
軽油		%	Z1			TZ006702002
	1 m3 当り					

SCB210110
J01 土砂等発生現場 = 3 現場制約あり
J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 23.0km以下

J02 積込機種・規格 = 7 人力
J04 DID区間の有無 = 2 有り

第 36 号 単価表

バックホウ運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				RR0114
軽油		L	24			TZ006702002
バックホウ（クローラ）〔標準〕	バケット容量0. 4 5 m 3	日				ML001010003
諸雑費（まるめ）		式	1			#99
計	1 日 当り					

SWK430110

J01 打換え区分 = 2

舗装版のみの打換え

第 37 号 単価表 土砂等運搬 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	通称10t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			MM000301005
労務構成比		%	R			/H
運転手 (一般)		%	R1			RR0115
材料構成比		%	Z			/H
軽油		%	Z1			TZ006702002
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 1

J03 土質 = 1

J06 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 14.0km以下

標準

土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

J02 積込機種・規格 = 1

J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ バケット容量0.8m3

有り

第 38 号 単価表 殻運搬 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	通称10t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			MM000301005
労務構成比		%	R			/H
運転手 (一般)		%	R1			RR0115
材料構成比		%	Z			/H
軽油		%	Z1			TZ006702002
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 3

J03 DID区間の有無 = 2

J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎
有り
全ての費用

J02 積込工法区分 = 2

J06 運搬距離 (km) (DID区間有) = 11 17.5km以下

機械 (対策不要厚15cm超) 又は必要

第 39 号 単価表

小型バックホウ運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				RR0114
軽油		L	7			TZ006702002
小型バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型]	排出ガス対策(第3次) バケット容量0.09~0.11m3	供用日	1.14			MM000201046
諸雑費（まるめ）		式	1			#99
計	1 日 当り					

SWK430540

J01 打換え区分 = 2

舗装版のみの打換え

第 40 号 単価表

タイヤローラ運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）		人				RR0114
軽油		L	26			TZ006702002
タイヤローラ [普通型]	運転質量 1 3 ～ 1 4 t	日				ML001060004
諸雑費（まるめ）		式	1			#99
計	1 日 当り					

SWK430150
J01 打換え区分 = 2

舗装版のみの打換え

第 41 号 単価表

振動ローラ運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）		人				RR0114
軽油		L	18			TZ006702002
振動ローラ（舗装用）[搭乘・コンバインド式]	運転質量 3 ～ 4 t	日				ML001070011
諸雑費（まるめ）		式	1			#99
計	1 日 当り					

SWK430550

J01 打換え区分 = 2

舗装版のみの打換え

第 42 号 単価表

アスファルトフィニッシャ運転

(ホイール型)

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）		人				RR0114
軽油		L	38			TZ006702002
アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅 2．3～6．0 m	日				ML001210002
諸雑費（まるめ）		式	1			#99
計	1 日 当り					

SWK430170

J01 打換え区分 = 2

舗装版のみの打換え

第 43 号 単価表

コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				RR0102
ダンプトラック運転		日				第 45 号単価表参照 SWK220710-J01&80
諸雑費（まるめ）		式	1			#99
計	10 m3 当り					
	1 m3 当り					

SWB229220

J01 DID区間の有無 = 2 有り

J04 ダンプトラックタイヤ損耗費 = 1 普通

J03 運搬距離 = 6 7.0km以下

第 44 号 単価表

高所作業車運転

トラック架装リフト、作業床高さ8～10m

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（一般）		人				RR0115
高所作業車(トラック架装リフト車)ブーム型	幅広デッキ旋回 地上高 8 ～ 1 0 m未満	日				TL001081003
軽油		L	21			TZ006702002
諸雑費		式	1			#99
計	1 日 当り					

第 45 号 単価表 ダンプトラック運転 1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				RR0115
軽油		L	19.2			TZ006702002
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	通称 4 t 積級	供用日	1.02			MM000301002
タイヤ損耗費	4 t 積級 普通 供用日	供用日	1.02			TZ010020044
諸雑費（まるめ）		式	1			#99
計	1 日 当り					

SWK220710
J01 ダンプトラックタイヤ損耗費 = 1 普通

設計基本情報

項 目	内 容	備 考
単価世代	2026年10月1日	
諸経費の工種	橋梁保全工事	
施工地域補正	一般交通影響有り(2)	
時間的制約状況	制約を受ける	労務費×1.06倍 ※交通誘導員の時間的制約は考慮しない
週休2日補正	あり	月単位（現場閉所）
労務費単価	端数処理	労務費単価の端数処理は、小数点以下を切捨てし、1円単位とする。
夜間施工の有無	なし	

小金原橋 補修工数量総括表

工種	種別	細別	規格	数量計算 単位	合計	備 考
断面修復工	断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	m3	0.16	1 構造物
		コンクリート廃材処分工	無筋	m3	0.16	
	ひびわれ補修工	ひびわれ延長		m	5.75	1 構造物
	低圧注入工法	注入材重量	エポキシ樹脂系	kg	0.26	
		シーل材重量	エポキシ樹脂系	kg	0.50	
		注入器具数		本	26	
	剥落防止工	剥落防止	可視性・透過性・有繊維型	m2	272.3	
橋梁付属物工	防護柵取替工	既設防護柵撤去延長		m	35	
		防護柵設置延長		m	35	
		鉄筋探査		m2	13	
		現場削孔	φ 28mm	箇所	84	
		樹脂カプセル	φ 22mm	本	84	
袖擁壁補修工	袖壁補修工	構造物とりこわし	機械施工	m3	1	
		コンクリート廃材処分工	有筋	m3	1	
		鉄筋工	鉄筋	t	0.1	
		型枠工	型枠工	m2	9.5	
		ケミカルアンカー		本	76	
		無収縮モルタル		m3	0.58	
		コンクリート打設		m3	0.87	
舗装工		舗装版切断工		m	30.0	
		舗装版切断排水処分工		m3	0.08	
		直接掘削積込		m2	90.0	
		路盤廃材処分工		m3	23.0	
		As廃材処分工		m3	16.0	
		不陸整正工	急速施工	m2	90.0	
		上層路盤工	急速施工 t=250	m2	90.0	
		基層工	急速施工 t=50mm PK-3 再生粗粒度20	m2	90.0	
		表層工	t=50mm PK-4 再生密粒度改質Ⅱ型(20)	m2	90.0	
附帯工	区画線設置工	区画線設置	実線(白)W=15	m	50	
			実線(黄)W=15	m	25	
仮設工	足場工	単管傾斜足場		掛m2	14.5	
	交通誘導員			人	107	

工 程 表 (参 考 资 料)

[illegible]

特記仕様書及び施工条件の明示

工 事 名 称 小金原橋補修工事
 工 事 箇 所 松戸市小金原字六丁目地先
 工 事 概 要 断面補修工・・・一式、袖壁補修工・・・一式、
 橋梁付属物工・・・一式、仮設工・・・一式

工事請負契約書、千葉県土木工事共通仕様書及び関係法令等を遵守すること。

明 示 項 目	明 示 事 項
工事関係	<p>工事着手前に周辺住民及び地権者等との調整を図り、全ての作業を工期内に完了しなければならない。</p> <p>また、原則として日祝日は作業を休止すること。</p> <p>昼間の作業時間は8：30～17：00とする。</p> <p>ただし、道路上の作業時間は所轄警察の道路使用許可証に従うこと。</p>
用地関係	特になし
契約制度関係 (週休2日制)	<p>本工事は、週休2日制適用工事である。</p> <p>受注者は、現場閉所による週休2日工事として取り組むこと。</p> <p>なお、予定価格には月単位の週休2日（4週8休以上）達成相当の経費を補正している。</p> <p>受注者が、工事着手前に完全週休2日（土日）の取組を希望し、かつ対象期間内において完全週休2日（土日）相当を達成した場合は、経費に補正係数を乗じ変更するものとする。</p> <p>週休2日制の実施にあたっては、「松戸市建設工事週休2日制適用工事実施要領」に基づき行うこと。</p>
公害対策関係	<p>常に整理整頓及び清掃するなど周辺環境の保全、安全確保に留意すること。</p> <p>また、騒音及び振動対策についても極力、低減するよう努めること。</p> <p>(低騒音型建設機械等使用・クラクション音の制限)</p>
安全対策関係	<p>安全管理及び安全教育の徹底を図り、現場内の安全を確保すること。</p> <p>荒天時及び荒天が予測されるときは作業を中止し、現場周辺の安全を確保すること。</p> <p>交通整理員の配置については、交通に支障をきたさぬよう適正に配置すること。</p> <p>特に重機等による作業事故を未然に防ぐよう十分な対策をとること。</p>
工事用道路関係	<p>開放時におけるマンホール、側溝及び舗装の段差には、十分注意を払い管理すること。</p> <p>また、近隣住民とのトラブルが無いように努めること。</p>
仮設備関係	施工方法等を考慮のうえ、請負者の責務にて設置する。
残土・産業廃棄物関係	<p>法令等に従い適切に処分し、関係書類を提出すること。</p> <p>なお、A s ガラ及びコンクリートガラ等は、再利用を図るため、仮置場等で他現場の発生材と混ざらないよう管理し、再生プラント施設へ搬出すること。</p>
工事支障物件等	<p>特に地下埋設等の占用物については事前に調査しておくこと。また、調査に係る費用は請負者の負担とする。なお、近接作業のおそれがある場合は、必ず、占用者の立会いのもと施工すること。</p> <p>マンホール等の高さ調整がある場合は、速やかに報告すること。</p>

施工体制	施工体制、下請け施工については、建設業法等を遵守すること。
境界杭等	道路境界（官杭(プレート)及び民杭(プレート)）は、請負者の責任において確認し、工事完了後に復元するものとする。 特に民民の境界については、必ず杭の有無に係わらず写真を撮り住民立会いのもと復元すること。 公共基準点が設置されている、又は発見した場合には、監督職員に報告するとともに、管理者の指示に従い、適切な措置をとること。
公共基準点の維持管理	工事施工区間内に公共基準点等が確認された場合には、建設総務課との協議を実施し、必要な申請書類を提出すること。
再生資源の利用	原則として、舗装材等については、再生材を利用すること。 Ａｓ ガラ等は、再生資源として処理プラント等に搬出するので、仮置場等で他現場の発生材と混ざらないよう管理すること。
施工管理に関する特記事項 （現状復旧）	請負者は、施工に当たり、施工箇所周辺の構造物、施設及び民地等に影響を及ぼさないように施工しなければならない 周辺施設への影響が予想される場合は直ちに監督職員へ通知し、その対応方法等に関して協議し決定するものとする。また、損傷が請負者の過失によるものと認められる場合、請負者自らの負担で現状復旧しなければならない。
完了確認検査 （事前検査）	請負者は、日常管理の段階確認、立会い確認とは別に、工事監督職員等による完了確認検査を受検しなければならない。 完了確認検査は、しゅん工届提出前に、工事完了した時点で速やかに受検すること。
熱中症対策に資する 現場管理費の補正の試行工事	本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。 工事の実施にあたっては、「松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき行うこと。
情報共有システムの 活用について	本工事は、情報共有システムの対象工事である。ただし、活用による生産性向上が見込まれないなどと判断される場合は、受発注者間の協議により、実施の有無を決定することとする。 実施にあたっては「松戸市土木工事情報共有システム試行要領」に基づくものとする。
その他	地元住民等の要望等を受けたとき及び疑義等があるときは、随時協議すること。 工事内容及び施工範囲の詳細については、監督職員と現場立会い等を実施した上で、確認すること。また、起終点の立会いに関しては立会い写真を撮り、しゅん工図書に収めること。

建設副産物に関する特記仕様書

1. 共通事項

- (1) 受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にすること。
また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、協力業者もこれを周知徹底すること。
- (2) 請負者は「建設リサイクル推進計画2020」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。
- (3) 建設副産物の処理に先立ち「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
- (4) 建設廃棄物の処分にあって、排出事業者（元請業者）は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書（厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式）を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。
- (5) 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提示し、確認を受けること。
- (6) 建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム（集荷目録制）」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票（複写式伝票）を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提示すること。また、排出事業者はA、B2、D、E票を5年間保存すること。
- (7) 発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

2. 建設発生土

建設発生土は、柏市岩井296-1番地先、片道運搬距離16.7 kmの(株)エスブロックに搬出するものとする。

建設発生土の処分については、仮置きについて考慮するものとする。

3. 改良土

~~発生土の内、図面等の指示により改良土を埋戻し材として利用する場合は千葉県知事の許可を得た改良プラントに発生土を搬出し、改良土を得るものとする。~~

4. 路盤廃材

本工事により発生する路盤材（23 m³）は、柏市風早1-5-1地先、片道運搬距離13.3kmの東京石油興業㈱に運搬し、処理するものとする。

5. 建設廃棄物

本工事により発生する

- 1) アスファルト塊（16m³）は、柏市風早1-5-1地先、
片道運搬距離13.3kmの東京石油興業㈱に運搬し、処理するものとする。
- 2) コンクリート塊（1.4m³）は、松戸市松飛台286-17地先、
片道運搬距離6.4kmの石建商事㈱に運搬し、処理するものとする。
- 3) スクラップ（0.9t）は、松戸市栄町西四丁目1216番地先、
片道運搬距離6.3kmの㈱クワカドに運搬し、処理するものとする。
- 4) 建設汚泥（0.08m³）は、八千代市吉橋字内野1075-9地先、
片道運搬距離20.3kmの千葉丸辰道路㈱に運搬し、処理するものとする。
- 5) 建設混合廃棄物（ m³）は、 市 町地先、
片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。
工事発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。
片道運搬距離は積算上代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。

又、元請業者は、次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

- ① 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
- ② 運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動、塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
- ③ 運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打合せを行い、環境保全に留意すること。
- ④ 混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

小金原橋 位置図・案内図

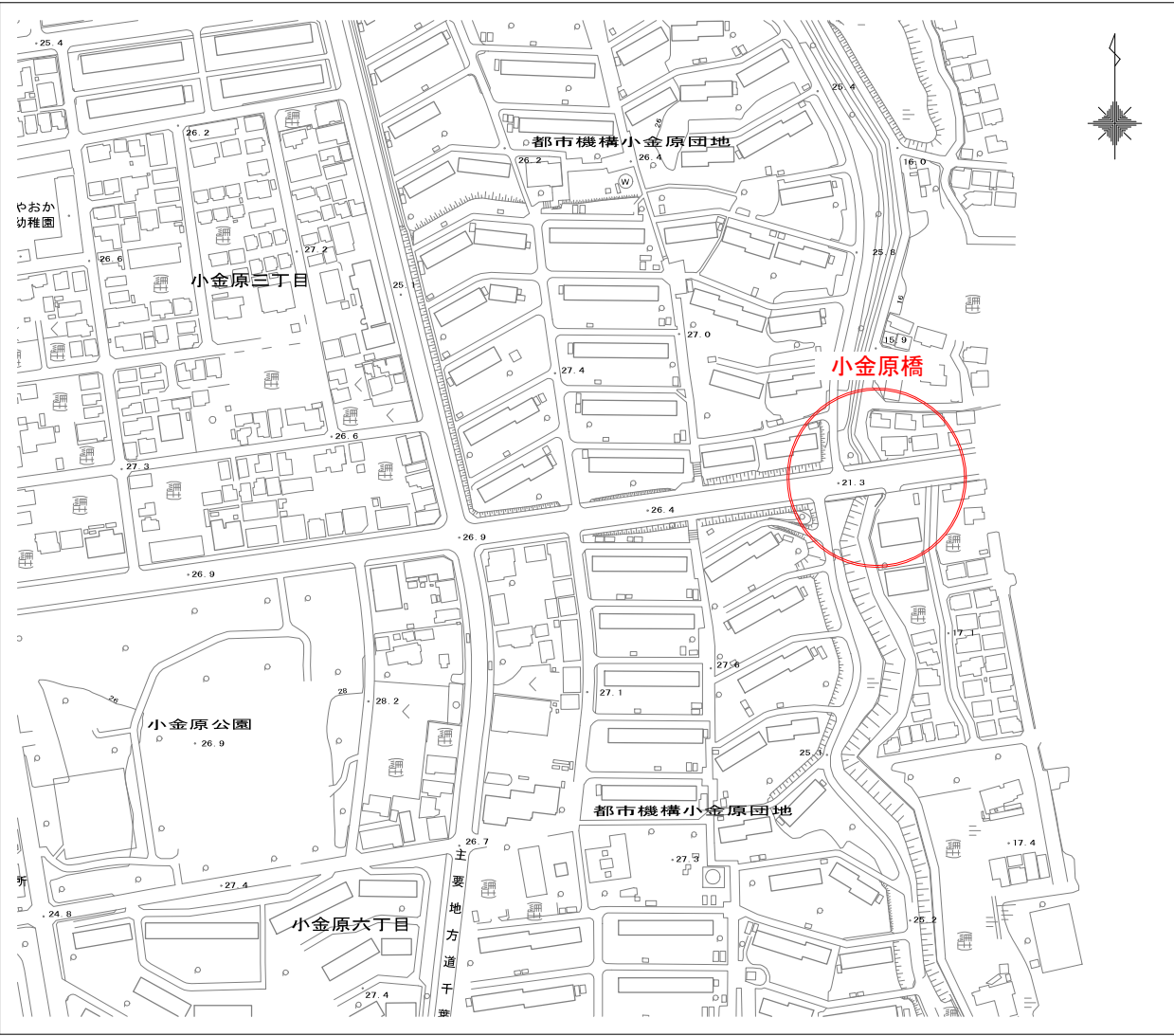
位置図

S=1:50,000 (1:25,000)



案内図

S=1:4,000 (1:2,000)



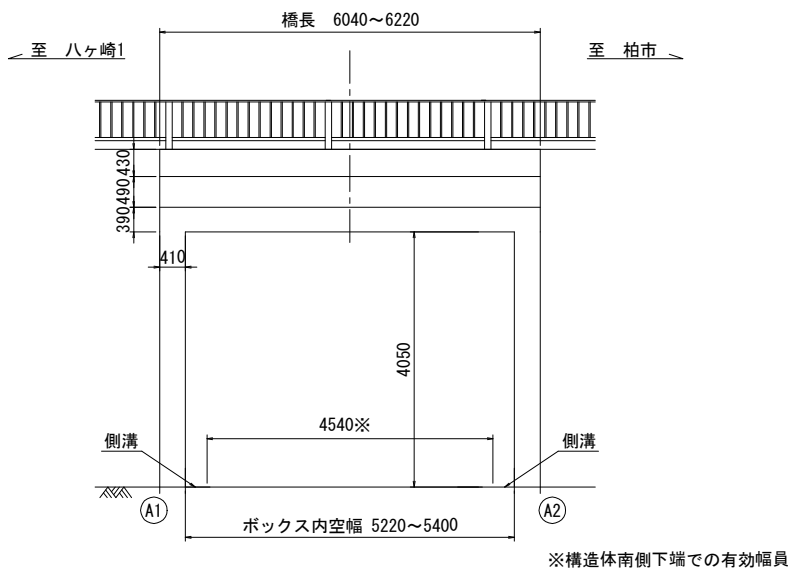
事業概要	道路維持工事（既設橋梁補修） N=1.0式
橋 梁 名	小金原橋
架橋位置	松戸市小金原字6丁目
路 線 名	主要幹線1級市道8号線
橋梁概要	橋長L=5.00m, 幅員W=18.00m, 橋面積A=90.0㎡

注記）（ ）内はA1版縮尺を示す。

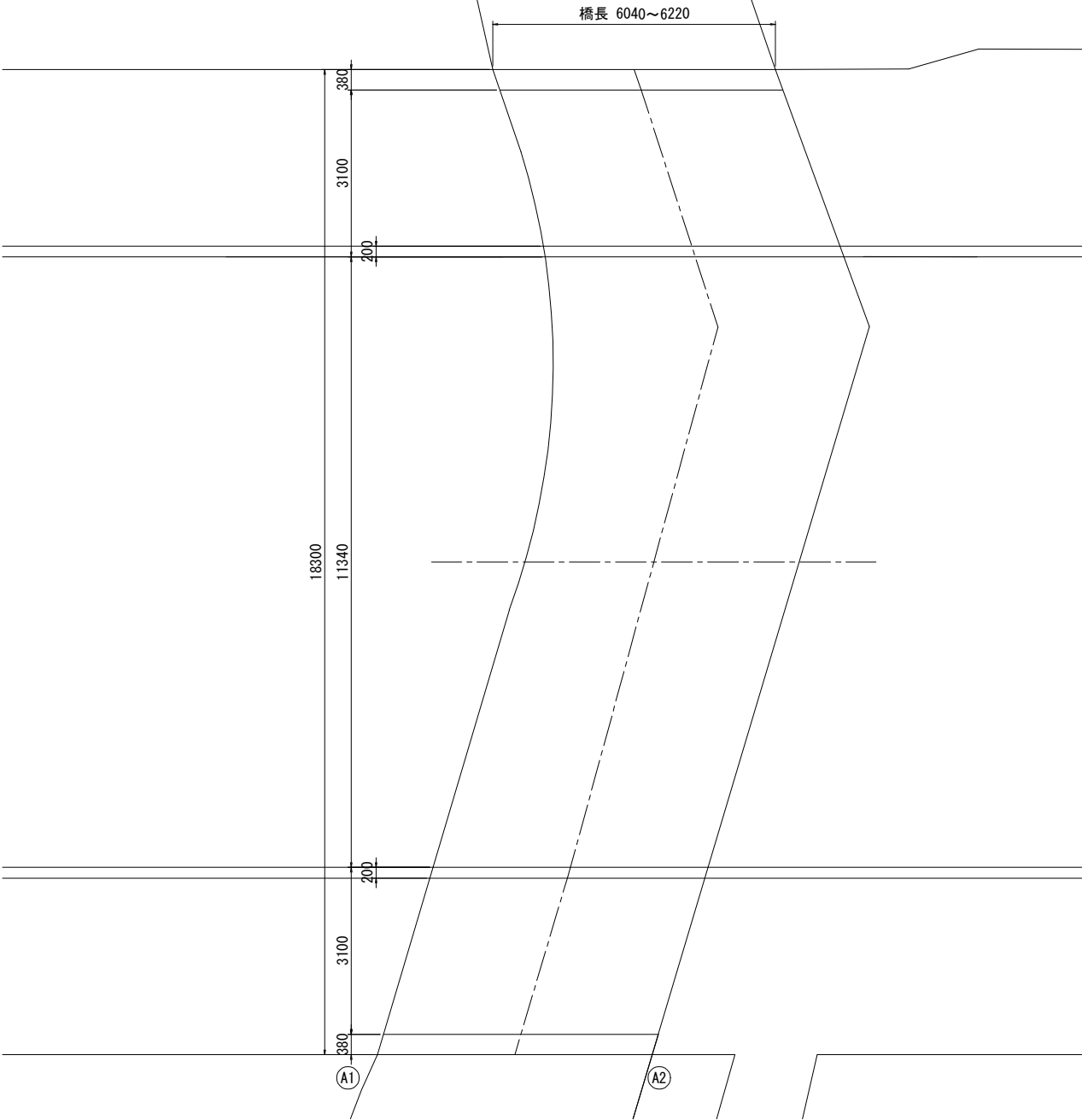
令和 8 年 度			
工事名称	小金原橋補修工事		
工事箇所	松戸市小金原字六丁目地先		
図面種別	小金原橋 位置図・案内図		
図面番号	全 12 葉の内第 1 号		
縮 尺	図示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

小金原橋 橋梁一般図 S=1:60

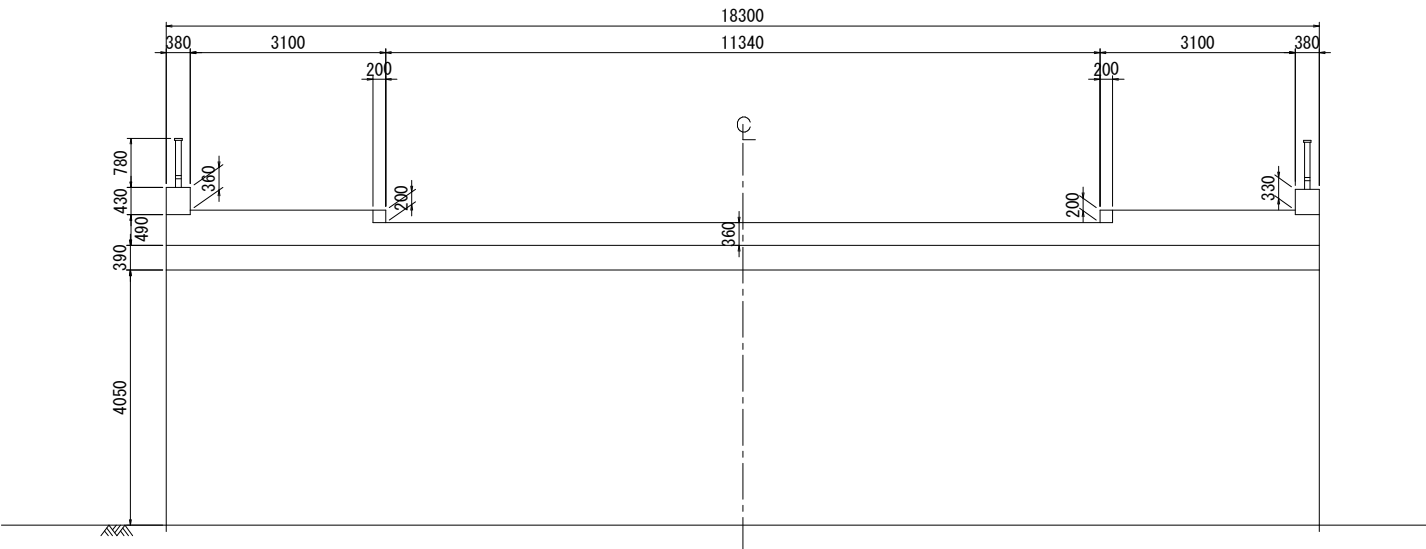
側 面 図



平 面 図



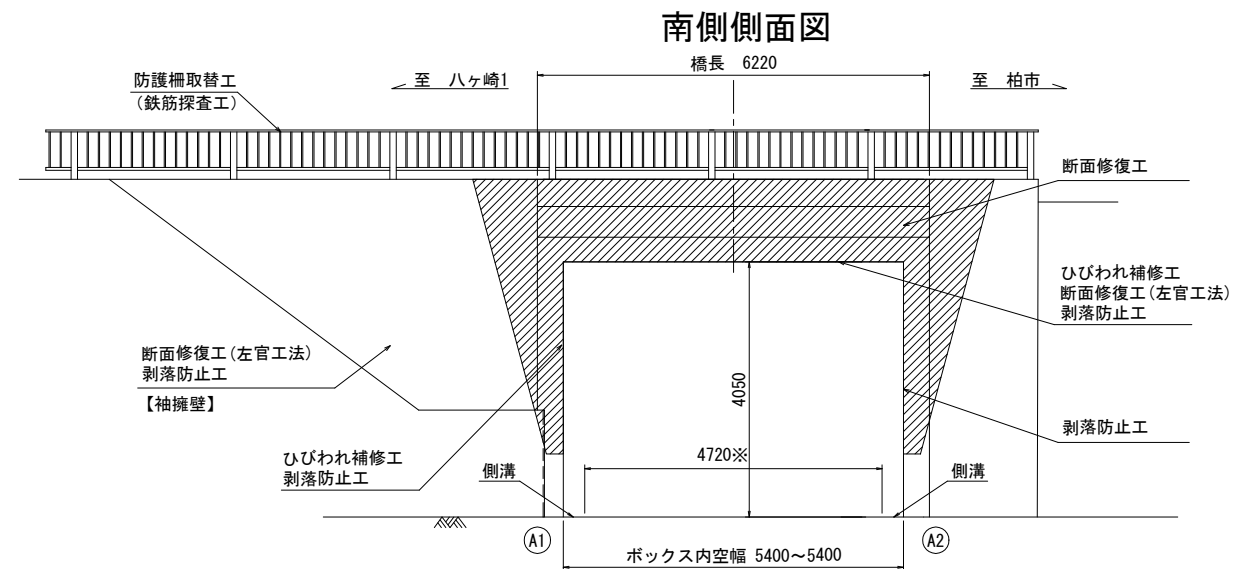
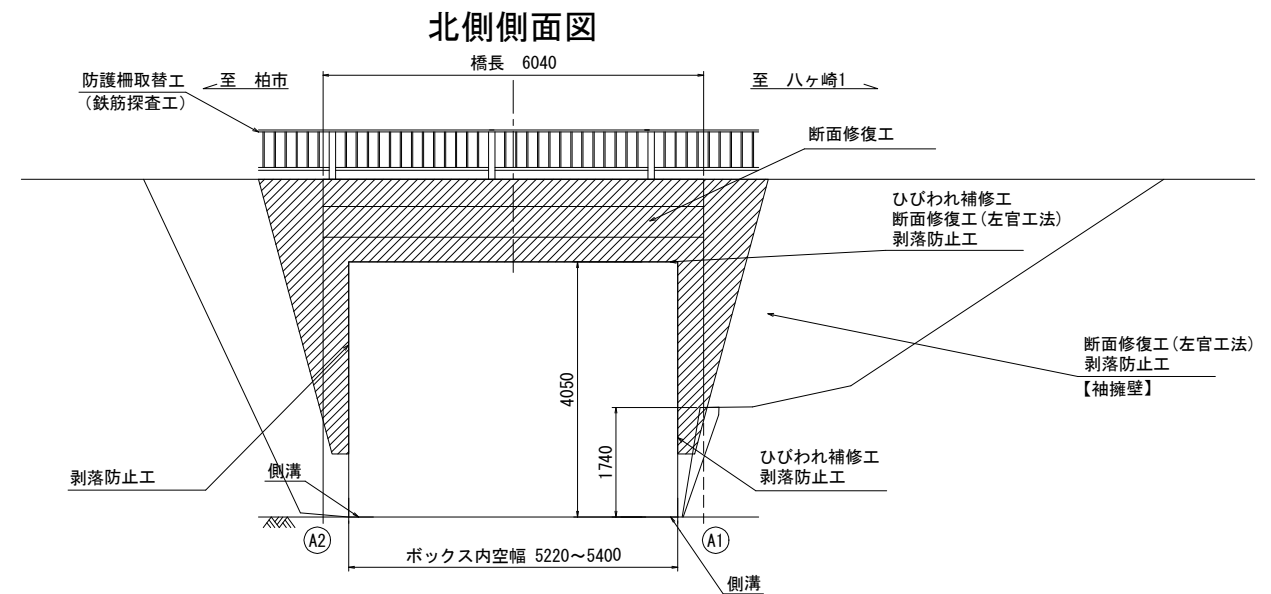
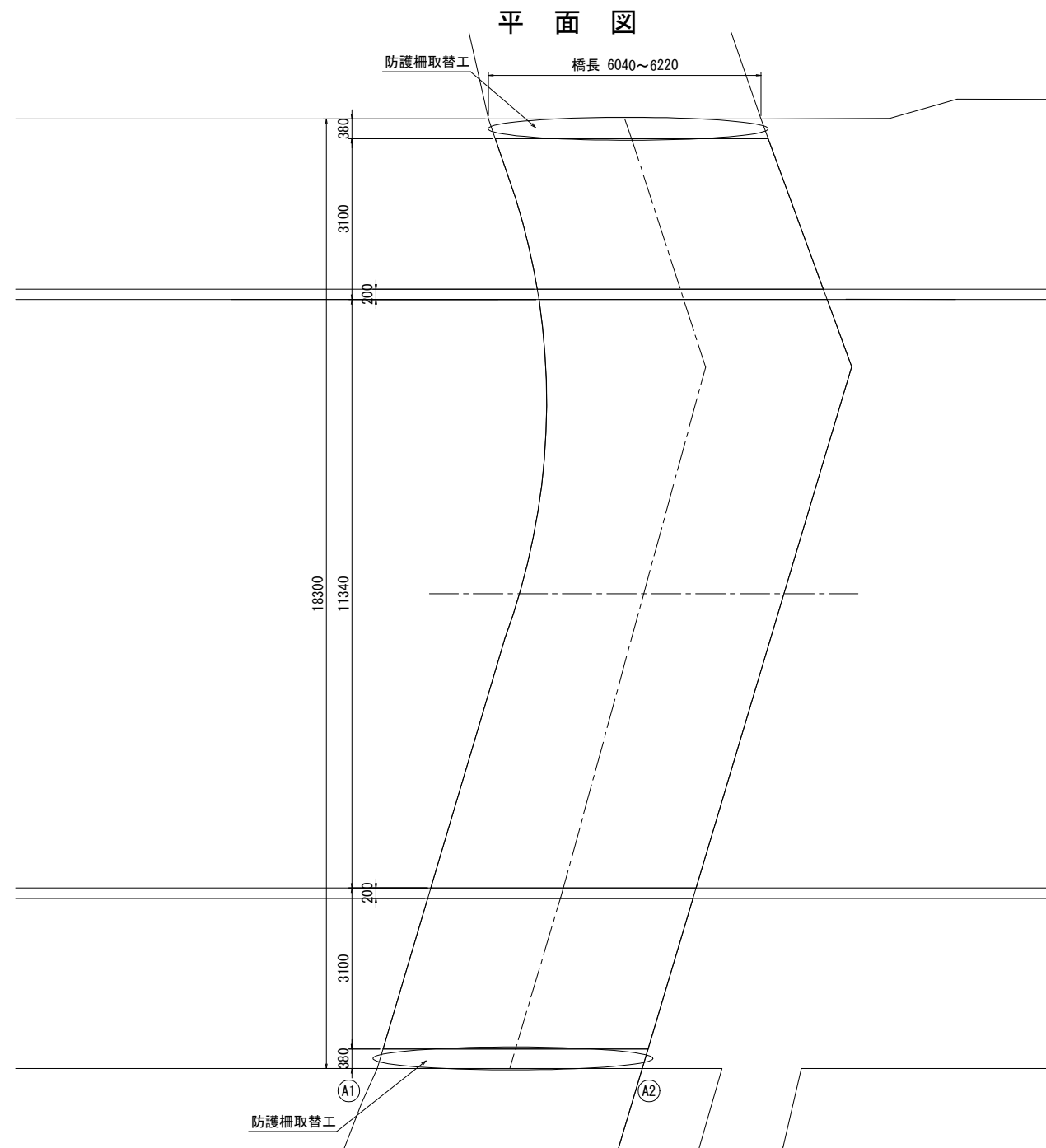
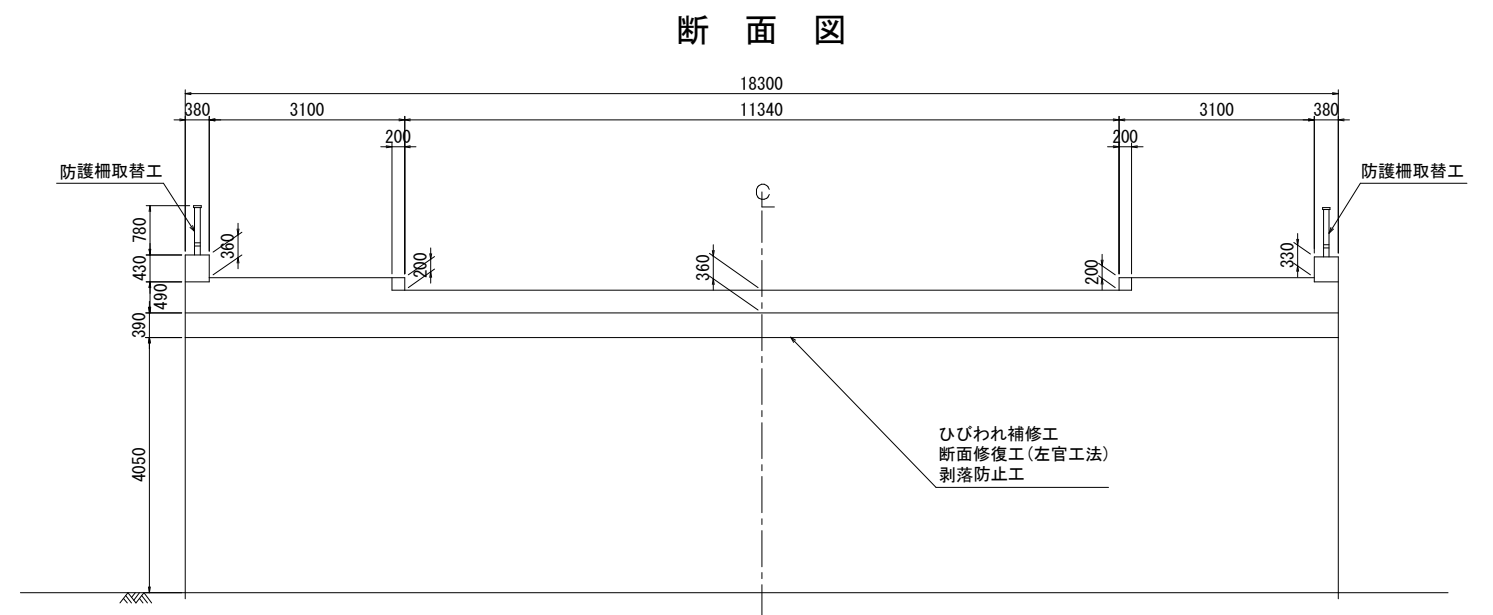
断 面 図



注記)
1.本図面は既存資料および本業務で実施した手動での計測結果を基に作成している。
2.補修工事に先立って、必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。

令和 8 年 度			
工事名称	小金原橋補修工事		
工事箇所	松戸市小金原字六丁目地先		
図面種別	小金原橋 橋梁一般図		
図面番号	全 12 葉の内第 2 号		
縮 尺	図示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

小金原橋 補修一般図 S=1:60



補修工法一覽表

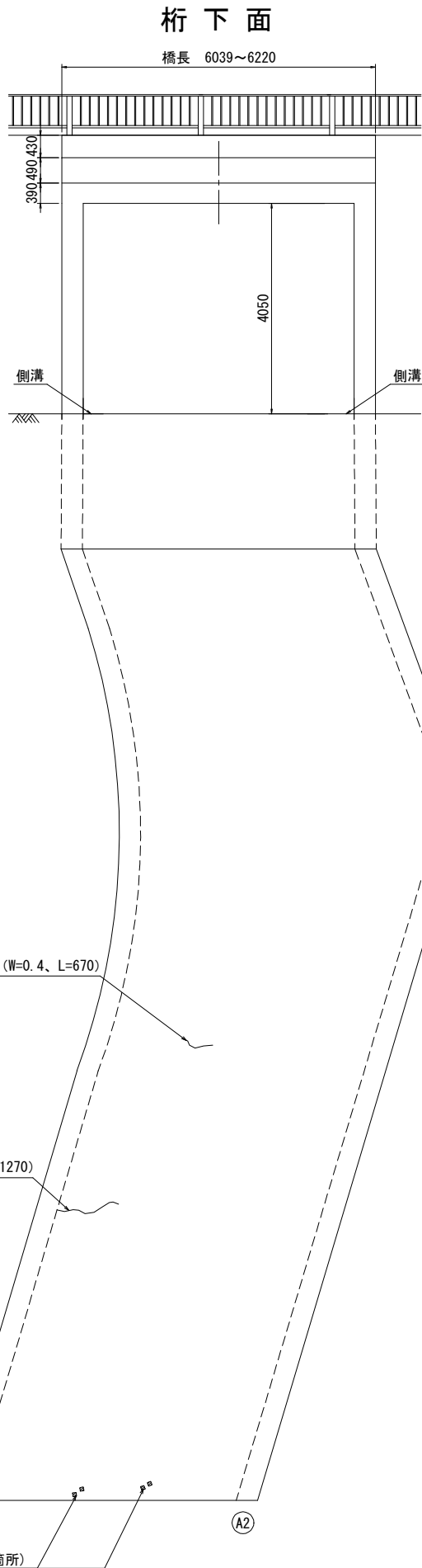
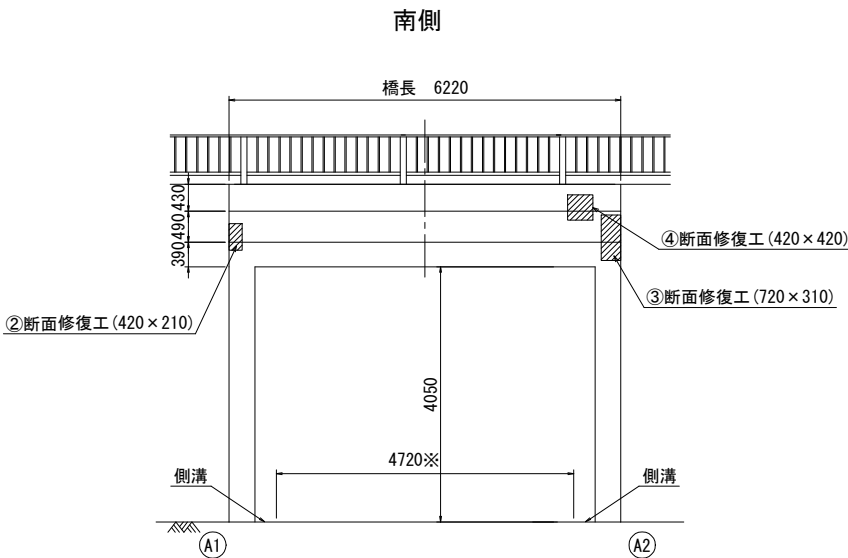
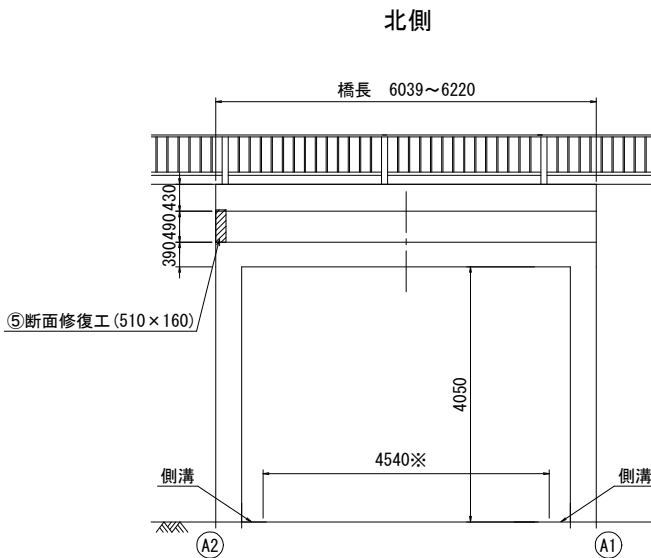
補修工種	補修工法・仕様等	補修対象箇所
① 上部工補修工	断面修復工(左官工法)、ひびわれ補修工、剥落防止工	主桁、地覆
② 下部工補修工	断面修復工(左官工法)、ひびわれ補修工、剥落防止工、型枠捨てん工	側壁、袖擁壁
③ 防護柵取替工	車両用防護柵	防護柵(北側、南側)

注記)
1.本図面は既存資料および本業務で実施した手動での計測結果を基に作成している。
2.補修工事に先立って、必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。

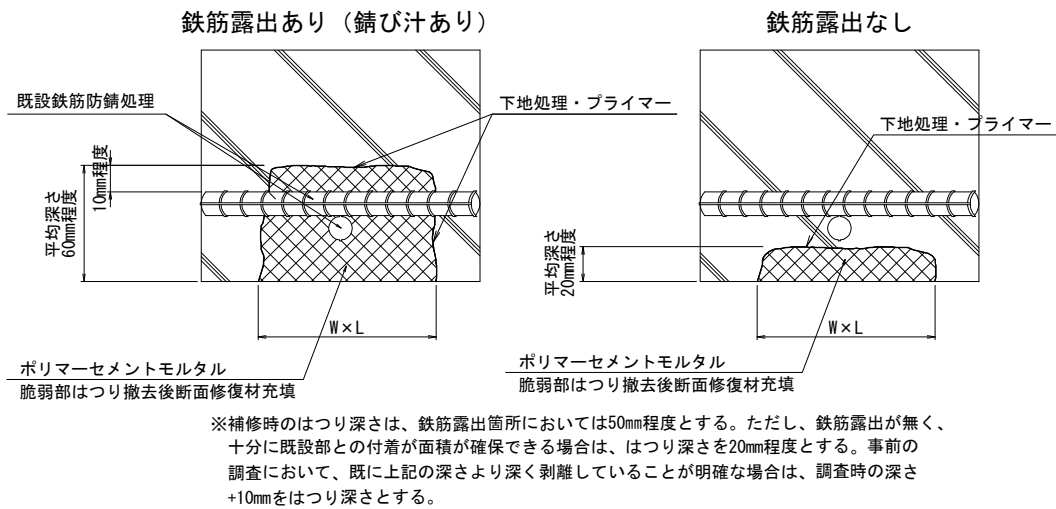
令和 8 年 度			
工事名称	小金原橋補修工事		
工事箇所	松戸市小金原字六丁目地先		
図面種別	小金原橋 補修一般図		
図面番号	全 12 葉の内第 3 号		
縮 尺	図示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

小金原橋 上部工補修工図 S=1:60

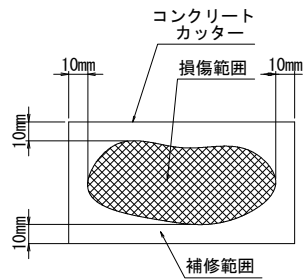
側面図



断面修復工要領図 (参考図)

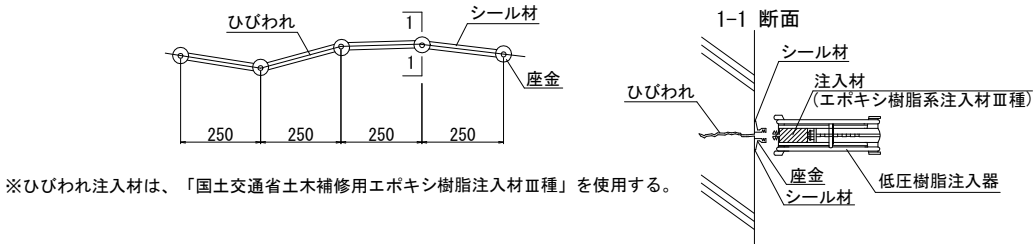


断面修復工範囲図



ひびわれ注入工要領図 (参考図)

(幅0.2～1.0mm以下のひびわれ)



上部工断面修復工数量表 (左官工法)

径間	損傷番号	部材名	損傷形状	剥離・鉄筋露出、変形・欠損			箇所	カッター延長(m)	面積 (m2)	体積 (m3)
				長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)				
1	1	頂版	50×50	0.070	0.070	0.050	4	1.120	0.020	0.0010
1	2	南側側面	400×200	0.420	0.210	0.050	1	0.840	0.088	0.0044
1	3	南側側面	700×300	0.720	0.310	0.050	1	1.340	0.223	0.0112
1	4	南側側面	400×400	0.420	0.420	0.050	1	1.600	0.176	0.0088
1	5	北側側面	490×150	0.510	0.160	0.050	1	0.830	0.082	0.0041
合計							8	5.730	0.589	0.0295

上部工ひびわれ注入工数量表

径間	損傷番号	部材名	ひびわれ		箇所	ひびわれ延長 (m)
			幅 (mm)	長さ (m)		
1	1	頂版	0.400	0.670	1	0.670
1	2	頂版	0.400	1.270	1	1.270
合計					2	1.940

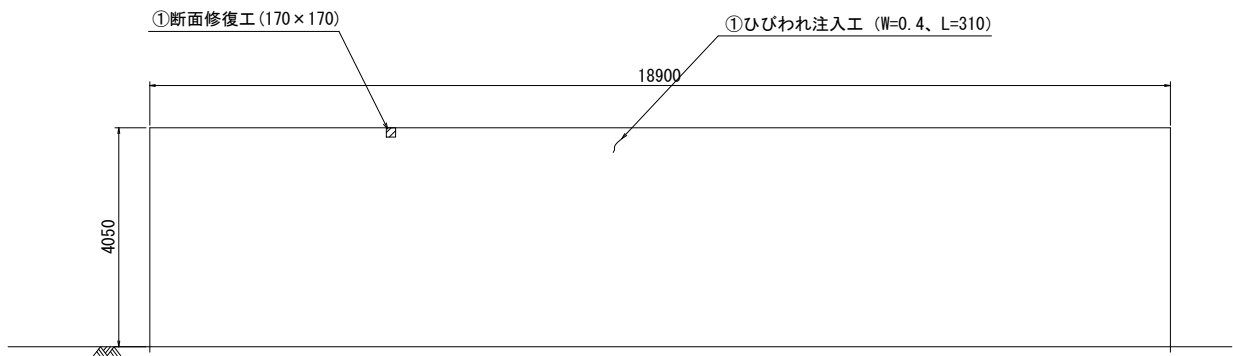
注記)

- 補修工事に先立って必ず現地計測を行い、現地状態を確認すること。
- 施工数量については現地再確認を行ったうえ、監督員の承諾を得て決定すること。
- 想定する剥落防止工を適用しない場合は、0.2mm以上のひびわれが対象となるため、留意されたい。

令和8年度			
工事名称	小金原橋補修工事		
工事箇所	松戸市小金原字六丁目地先		
図面種別	小金原橋 上部工補修工図		
図面番号	全 12 葉の内第 4 号		
縮尺	図示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

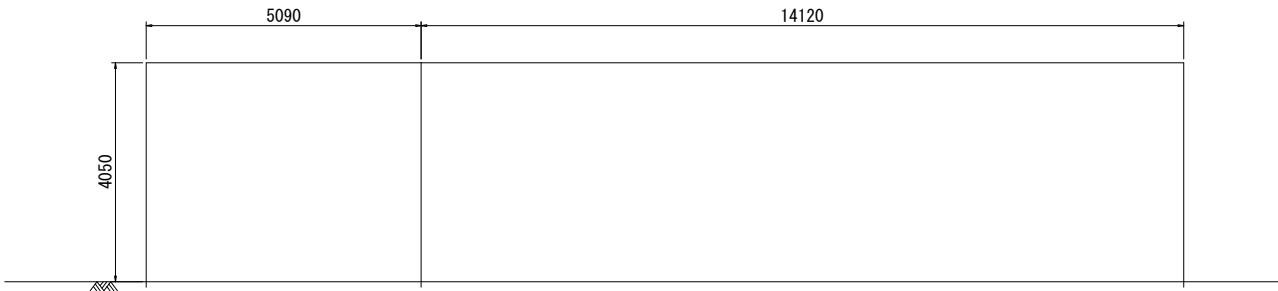
小金原橋 下部工補修工図 S=1:70

A1側壁

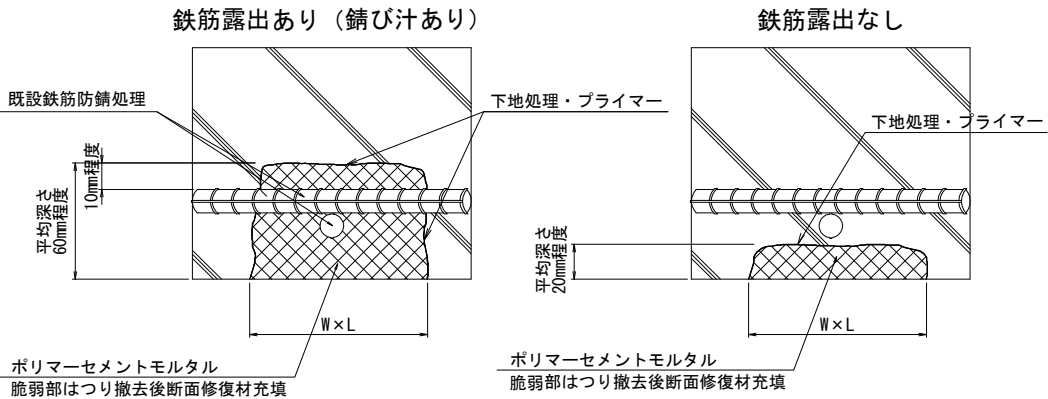


※ひびわれ幅0.4mm以上のひびわれのみ記載している。

A2側壁



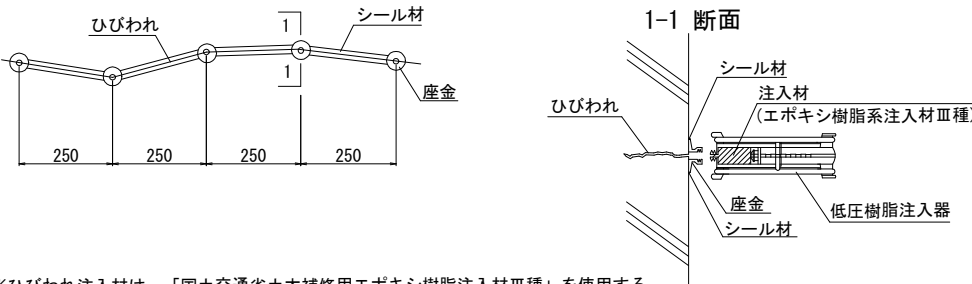
断面修復工要領図（参考図）



※補修時のはつり深さは、鉄筋露出箇所においては50mm程度とする。ただし、鉄筋露出が無く、十分に既設部との付着が面積が確保できる場合は、はつり深さを20mm程度とする。事前の調査において、既上記の深さより深く剥離していることが明確な場合は、調査時の深さ+10mmをはつり深さとする。

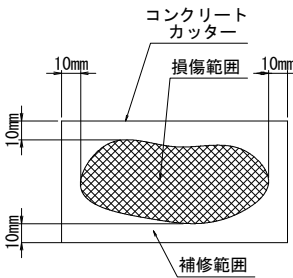
ひびわれ注入工要領図(参考図)

（幅0.2～1.0mm以下のひびわれ）



※ひびわれ注入材は、「国土交通省土木補修用エポキシ樹脂注入材Ⅲ種」を使用する。

断面修復工範囲図



下部工断面修復工数量表（左官工法）

損傷番号	部材名	損傷形状	剥離・鉄筋露出、変形・欠損			箇所	カッター延長(m)	面積 (m2)	体積 (m3)
			長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)				
1	A1側壁	150×150	0.170	0.170	0.100	1	0.680	0.029	0.0029
合計						1	0.680	0.029	0.0029

下部工ひびわれ注入工数量表

損傷番号	部材名	ひびわれ		箇所	ひびわれ延長 (m)
		幅 (mm)	長さ (m)		
1	A1側壁	0.400	0.310	1	0.310
合計				1	0.310

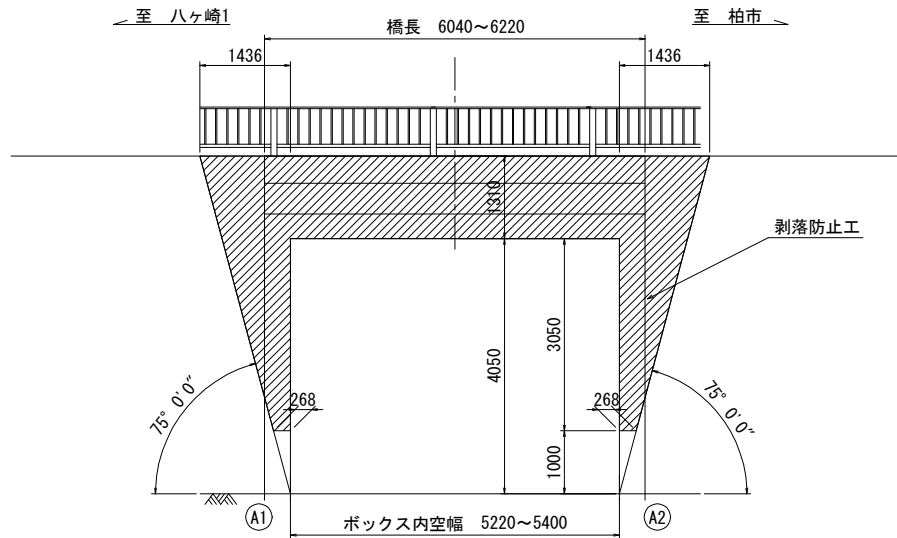
注記)

- 補修工事に先立って必ず現地計測を行い、現地状態を確認すること。
- 施工数量については現地再確認を行ったうえ、監督員の承諾を得て決定すること。
- 想定する剥落防止工を適用しない場合は、0.2mm以上のひびわれが対象となるため、留意されたい。

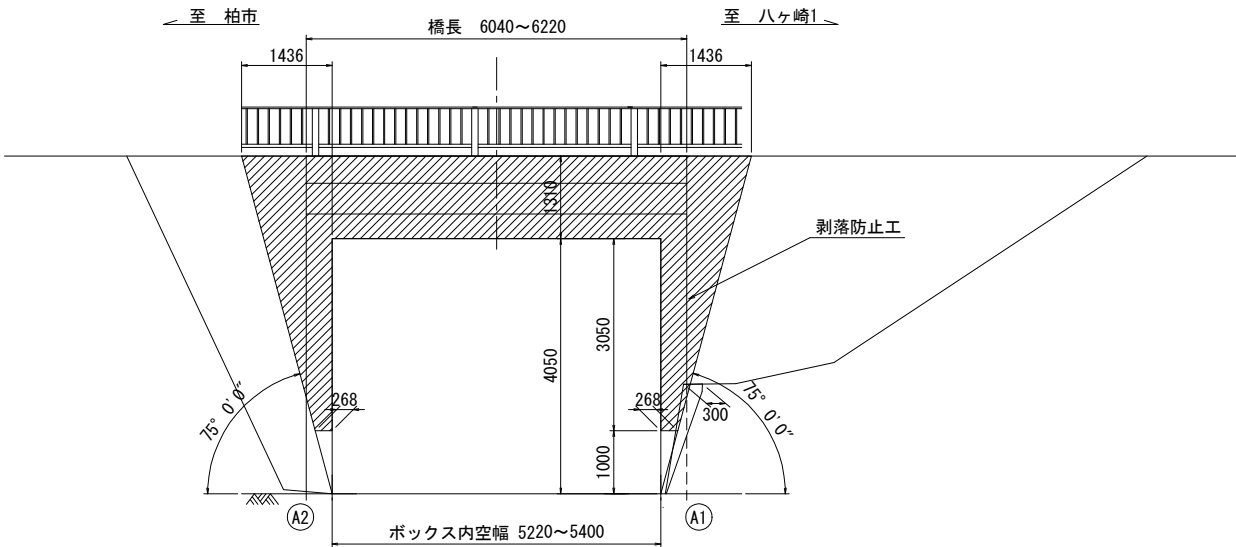
令和8年度			
工事名称	小金原橋補修工事		
工事箇所	松戸市小金原字六丁目地先		
図面種別	小金原橋 下部工補修工図		
図面番号	全 12 葉の内第 5 号		
縮尺	図示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

小金原橋 剥落防止工図 S=1:60

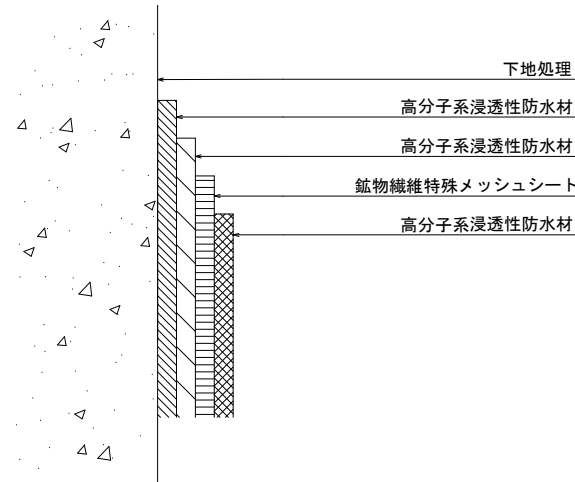
南側側面図



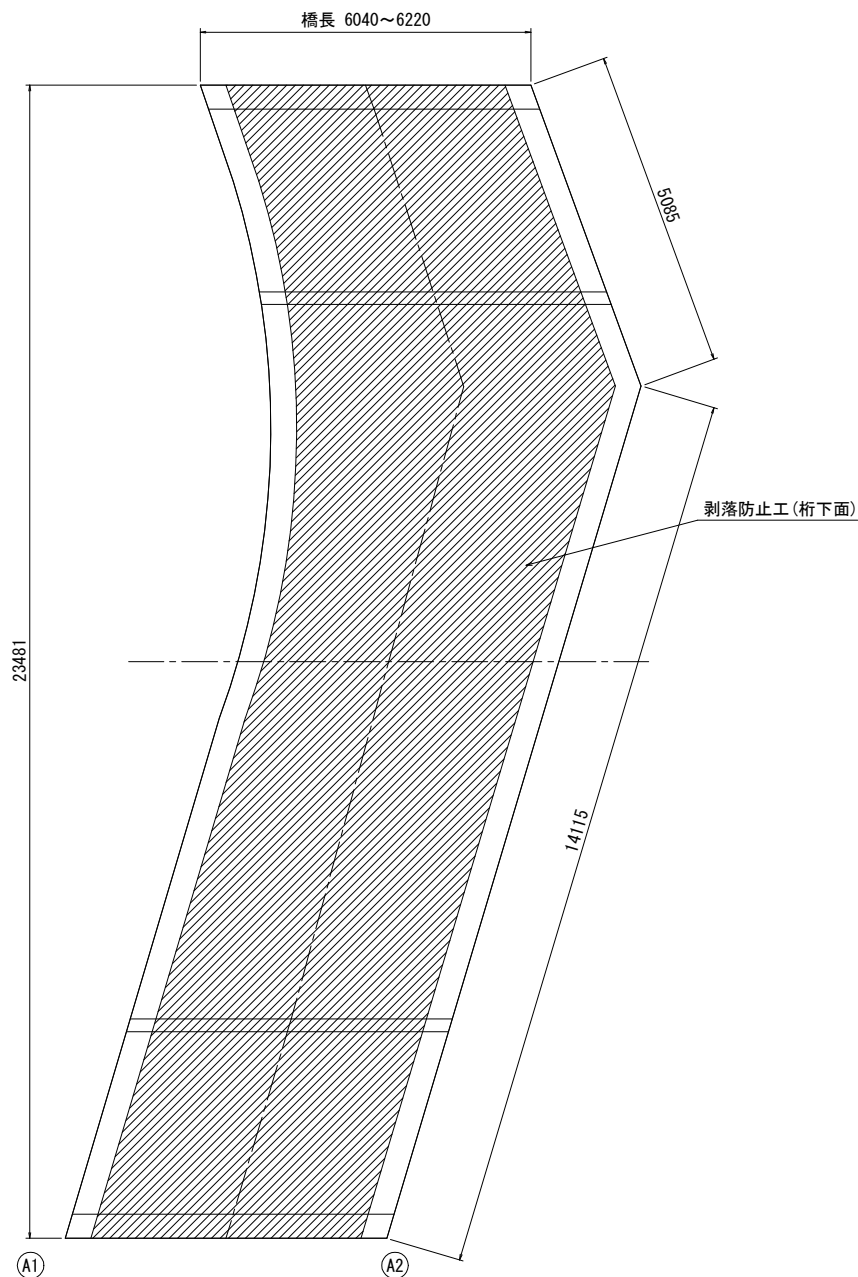
北側側面図



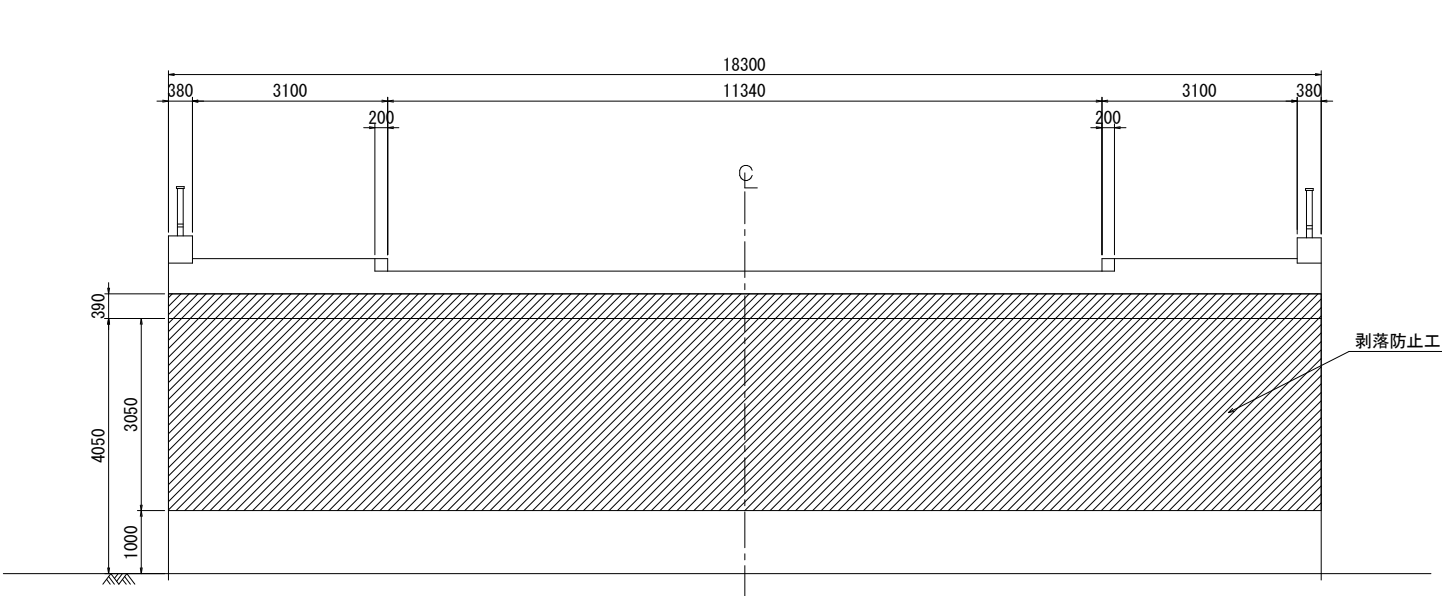
剥落防止工



平面図



断面図



単位数量表

項 目	細 目	単位	標準 使用量	備 考
(m2当たり)				
下地処理	清掃・ケレン		-	
1層目塗布	高分子系浸透性防水材	kg	0.15	
2層目塗布	高分子系浸透性防水材	kg	0.35	
シート貼付	鉱物繊維特殊メッシュシート	kg	-	
3層目塗布	高分子系浸透性防水材	kg	0.35	

数量表

工 種	仕 様	単位	数量	備 考
剥落防止工	高分子系浸透性防水材	m2	272.3	

- 注記)
- 補修工事に先立って、必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。
 - 施工数量については現地再確認を行ったうえ、監督員の承諾を得て決定すること。
 - 剥落防止工の実施範囲にうき、欠損がある場合、これを補修後に剥落防止工を行うこと。
 - 剥落防止材のラップ部は10cm以上確保すること。
 - 既存のコンクリート塗膜を除去した後、ひびわれ幅が0.2mm以上のひびわれに対しては補修を行わずに剥落防止工を実施されたい。
 - ひびわれ幅0.3~0.4mmのひびわれが見られた際は、高分子系浸透防止材の塗布回数を1層増やして対応されたい。なお、ひびわれ幅が0.4mmより大きい場合は、注入工、充填工を実施した上で施工されたい。

令和8年度			
工事名称	小金原橋補修工事		
工事箇所	松戸市小金原字六丁目地先		
図面種別	小金原橋 剥落防止工図		
図面番号	全 12 葉の内第 6 号		
縮 尺	図示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

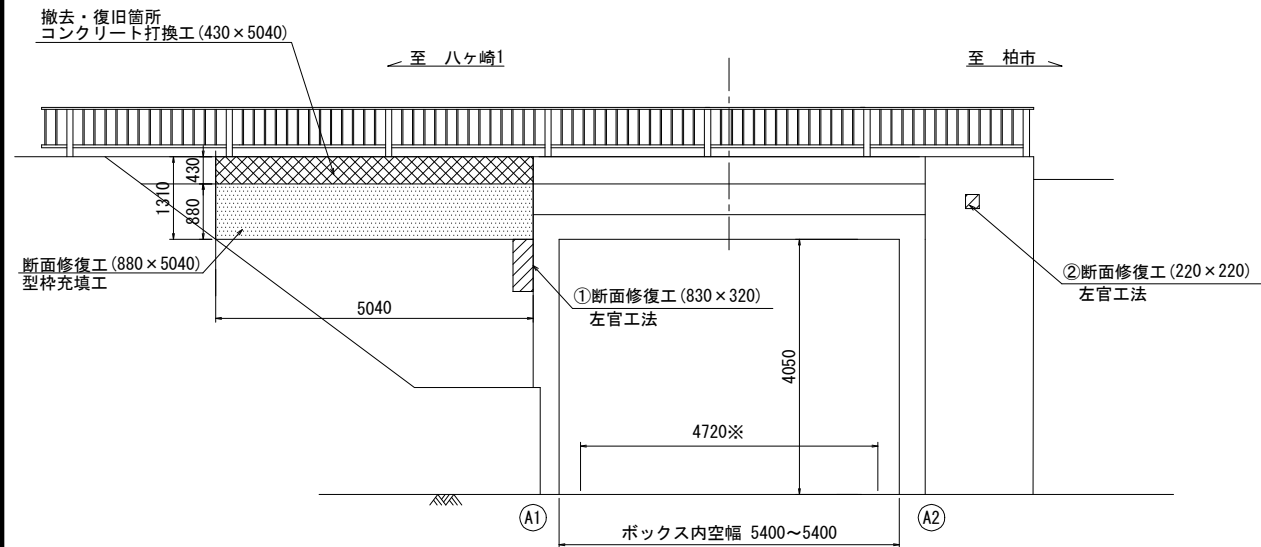
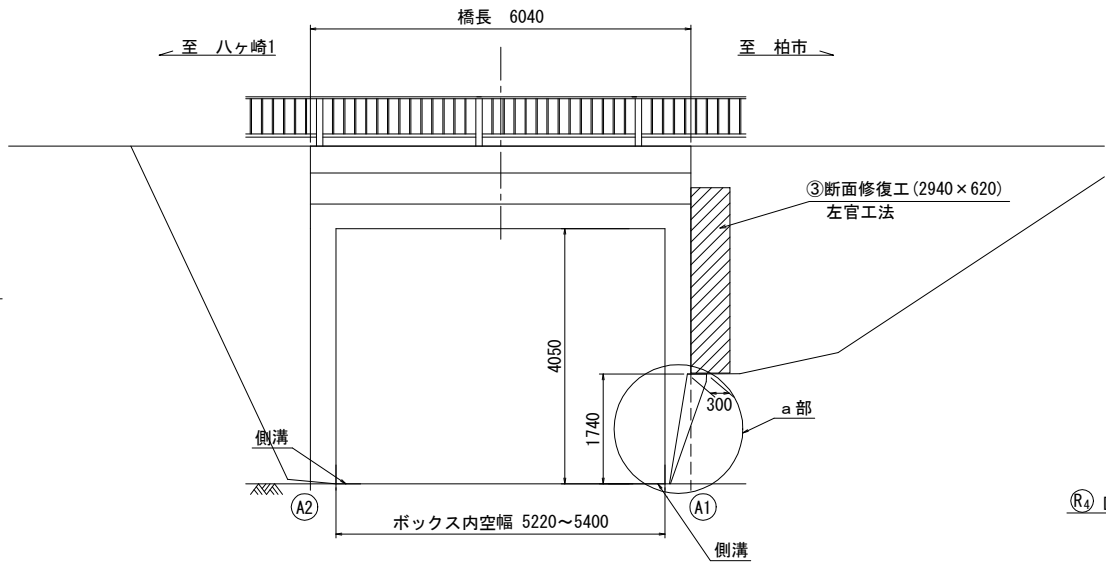
小金原橋 袖擁壁補修工図

南側

側面図

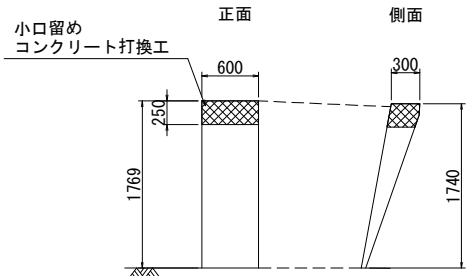
S=1:60

北側



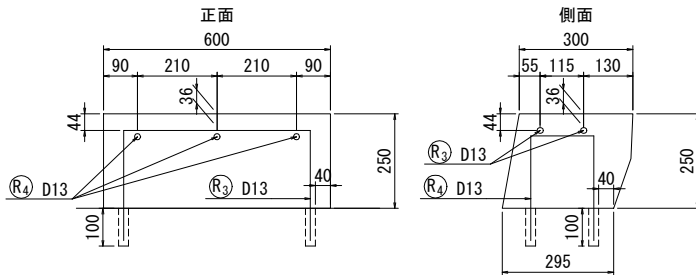
a部詳細図

S=1:40



配筋図

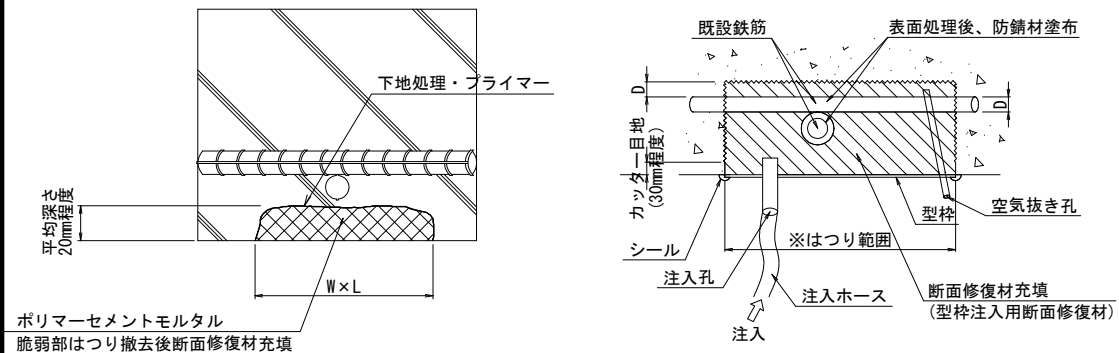
S=1:10



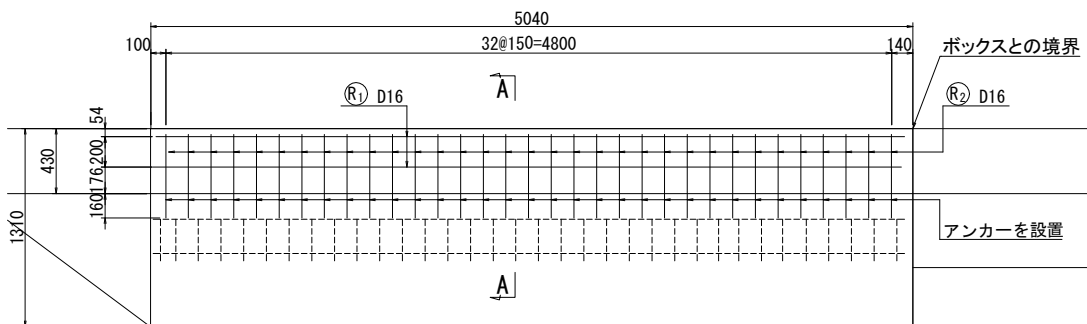
断面修復工要領図 (参考図)

左官工法 (鉄筋露出無し)

型枠充填工法

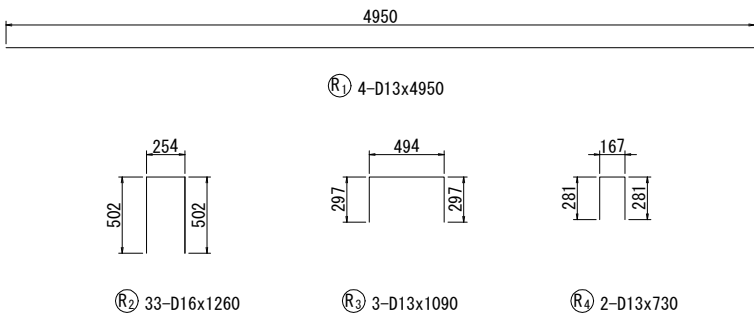


配筋図 (新設時) S=1:25



鉄筋加工図

S=1:25



※点線は袖擁壁の既設鉄筋位置 (鉄筋探査より推定) を示す。
※鉄筋探査の結果から壁高欄内部の既設最外縁鉄筋位置は、ボックスとの境界から約100mm程度と推定した。壁高欄の新設鉄筋は、既設とは異なる位置にアンカー削孔が必要があること、袖擁壁の内部鉄筋との干渉を避ける必要があることから、壁高欄鉄筋新設時の最外縁鉄筋位置は既設鉄筋位置から約40mmずらし、ボックスとの境界より約140mm離れた位置としている。
※壁高欄コンクリートを撤去した際に、壁高欄新設鉄筋が壁高欄の既設アンカー位置と干渉する場合、または袖擁壁の既設鉄筋位置と干渉する場合には、必要に応じて壁高欄の新設鉄筋位置を調整されたい。

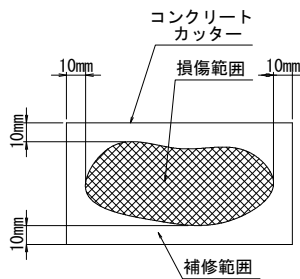
数量表

名 称	品名又は仕様	単位	数量	備 考
断面修復工	左官工法	m3	0.107	
コンクリート撤去		m3	1.44	
鉄筋工	D13, D16	t	0.104	
型枠		m2	9.5	
あと施工アンカー	ケミカルアンカー相当品	本	76	
無収縮モルタル	σ ck=24N/mm2	m3	0.58	
コンクリート打設		m3	0.87	

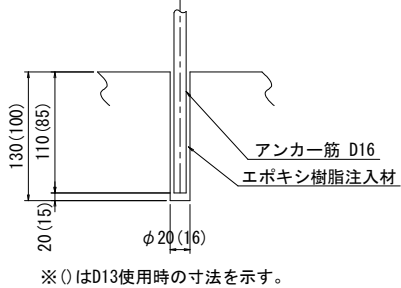
鉄筋質量表

種 別	径	長 さ	本数	単位質量	1本当質量	質 量	摘 要
R 1	D13	4950	4	1.56	7.72	31	—
R 2	D16	1260	33	1.56	1.97	65	□
R 3	D13	1010	3	1.56	1.98	5	□
R 4	D13	730	2	1.56	1.47	3	□
							104
				D13	39	kg	
				D16	65	kg	
合 計				104	kg		

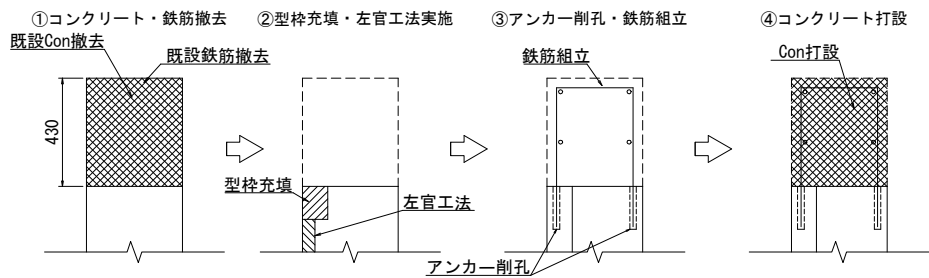
断面修復工範囲図



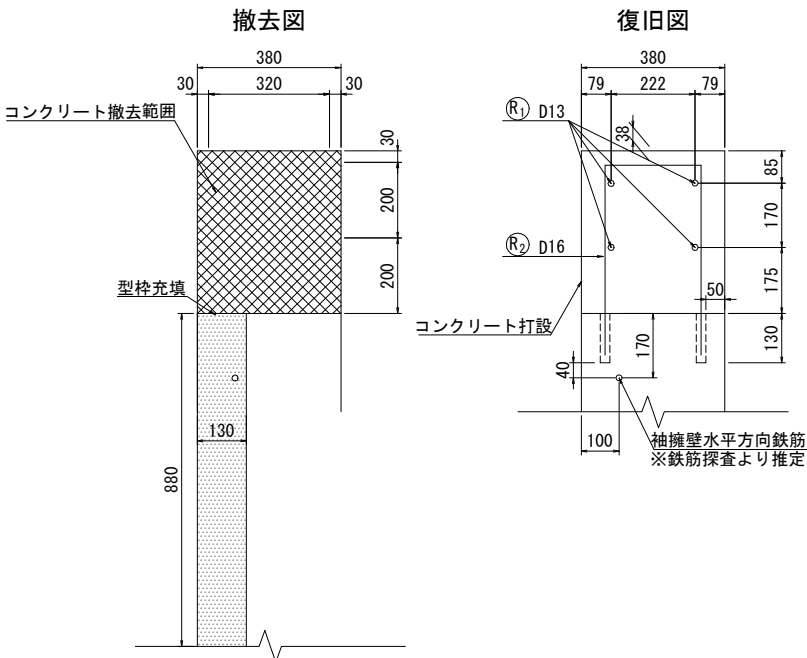
アンカー筋概要図



施工ステップ概要図



A - A S=1:10



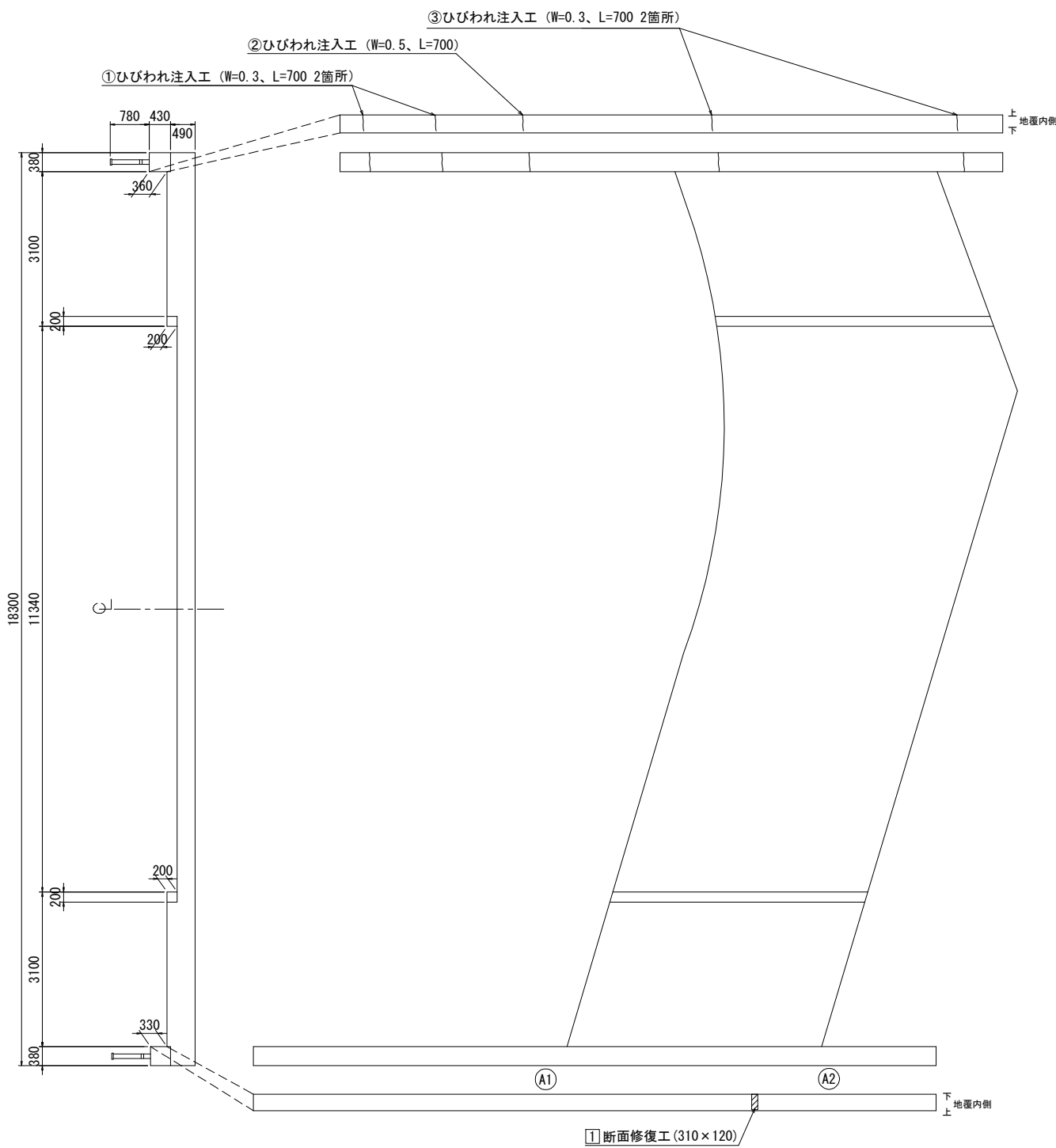
注記)

- 補修工事に先立って、必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。
- 施工数量については現地再確認を行ったうえ、監督員の承諾を得て決定すること。
- 左官工法の実施は、型枠充填工法の品質に影響を及ぼさないタイミングで実施されたい。
- 型枠の数量は、施工前の現地計測後に損傷の大きさに合わせて調整されたい。
- 本図面に描かれている袖擁壁の既設鉄筋位置は現地調査時の鉄筋探査の結果であるため、袖擁壁の補修のためにコンクリートをはつる際には、改めて鉄筋探査等を用いて内部鉄筋の配筋を確認することが望ましい。
- 型枠充填工のはつり深さは、鉄筋探査で得られた袖擁壁の最外端鉄筋位置 (平均深さ: 約100mm) に、鉄筋径 (D16: 想定) と余裕量 (16mm) を考慮して130mmと設定している。
- 小口留めコンクリートの形状は、設計時に実施した3Dスキャナ計測結果から概形を決定している。

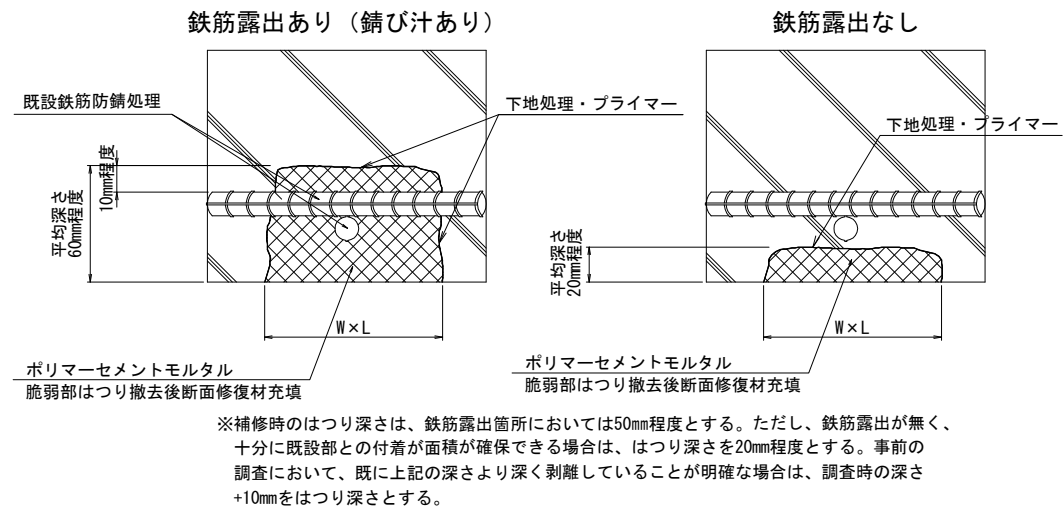
令和 8 年 度			
工事名称	小金原橋補修工事		
工事箇所	松戸市小金原字六丁目地先		
図面種別	小金原橋 袖擁壁補修工図		
図面番号	全 12 葉の内第 7 号		
縮 尺	図示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

小金原橋 橋面補修工図 S=1:60

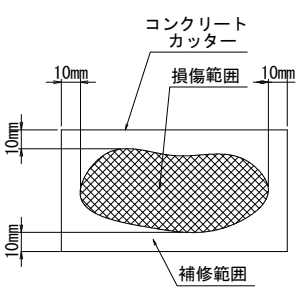
平面図



断面修復工要領図（参考図）

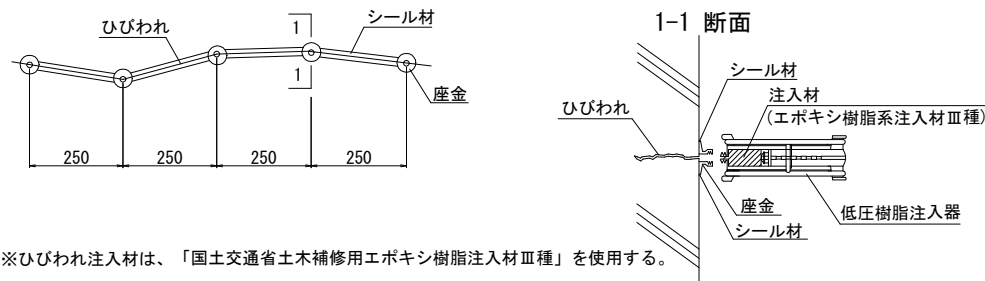


断面修復工範囲図



ひびわれ注入工要領図（参考図）

（幅0.2～1.0mm以下のひびわれ）



※ひびわれ注入材は、「国土交通省土木補修用エポキシ樹脂注入材Ⅲ種」を使用する。

上部工断面修復工数量表（左官工法）

損傷番号	部材名	損傷形状	剥離・鉄筋露出, 変形・欠損			箇所	カッター延長(m)	面積(m2)	体積(m3)
			長さ(m)	幅(m)	深さ(m)				
①	地覆側面	300×100	0.310	0.120	0.050	1	0.740	0.037	0.0019
合計						1	0.740	0.037	0.0019

上部工ひびわれ注入工数量表

損傷番号	部材名	ひびわれ		箇所	ひびわれ延長(m)
		幅(mm)	長さ(m)		
①	地覆	0.300	0.700	2	1.400
②	地覆	0.500	0.700	1	0.700
③	地覆	0.300	0.700	2	1.400
合計				5	3.500

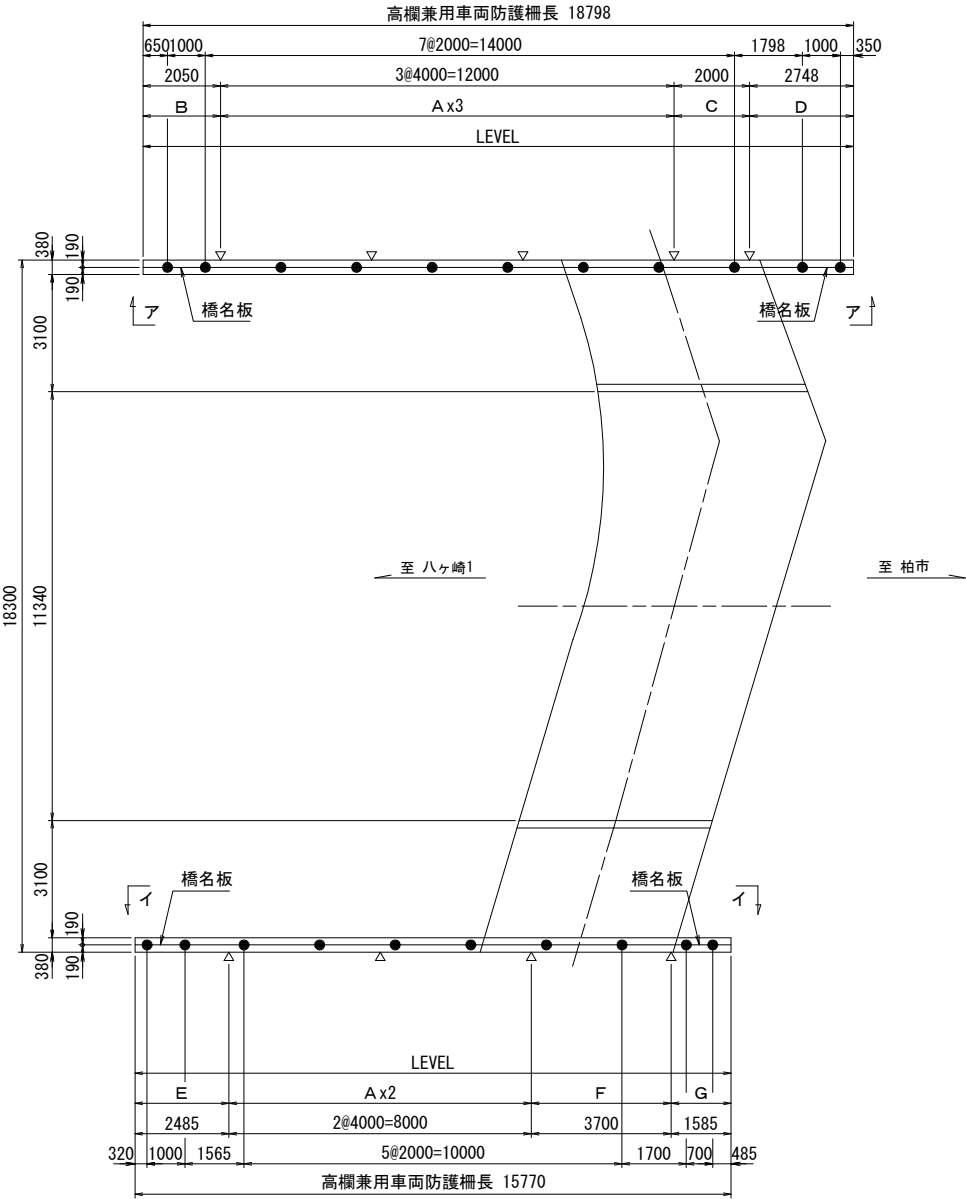
注記)
1.補修工事に先立って、必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。
2.施工数量については現地再確認を行ったうえ、監督員の承諾を得て決定すること。

令和8年度			
工事名称	小金原橋補修工事		
工事箇所	松戸市小金原字六丁目地先		
図面種別	小金原橋 橋面補修工図		
図面番号	全 12 葉の内第 8 号		
縮尺	図示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

小金原橋 防護柵取替工図(その1)

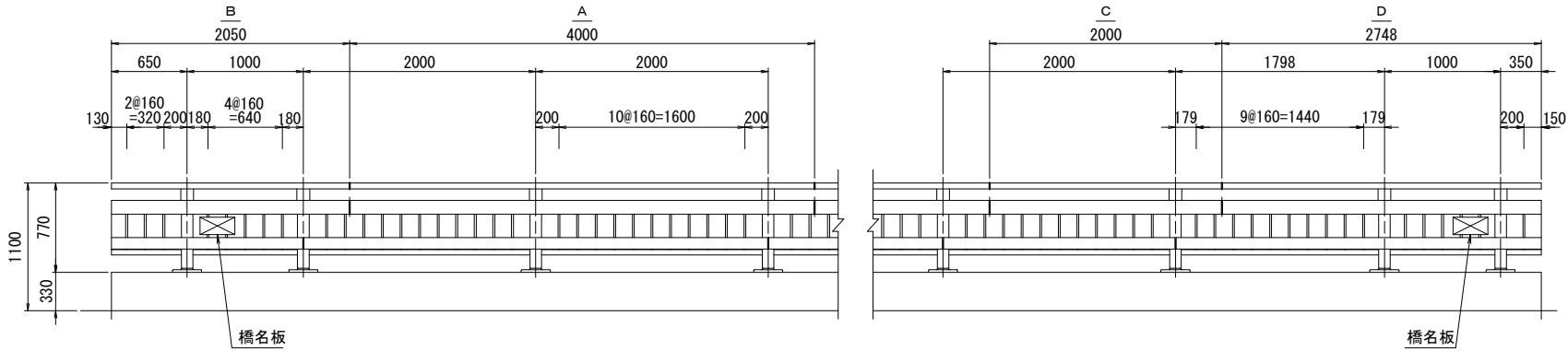
配置図 S=1:100

- 注) 1. 図中寸法は支柱中心押えでの実長を示す。 高欄兼用車両防護柵長=34m568
2. ●印は支柱の位置を示す。
3. ▽印は継手部の位置を示す。
4. 勾配は製作勾配を示す。

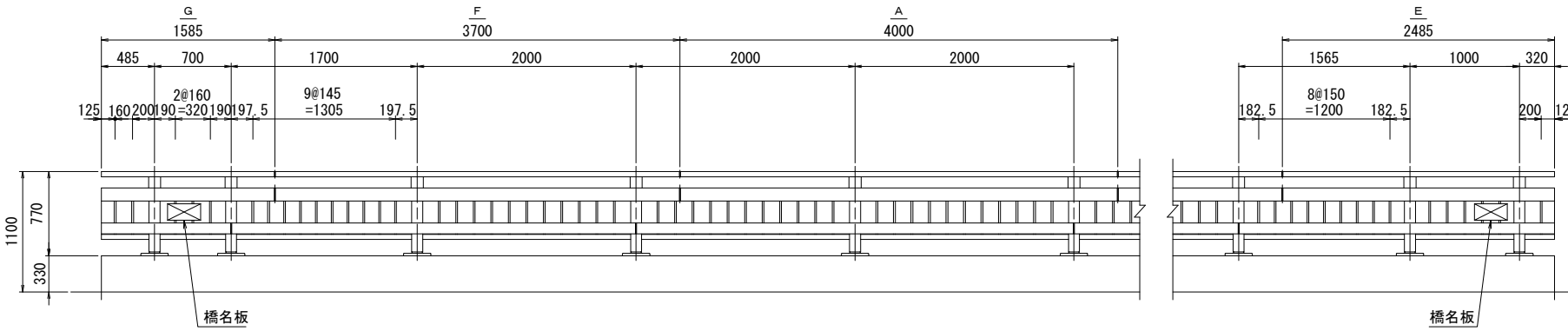


姿図 S=1:30

矢視アーア



矢視イーイ

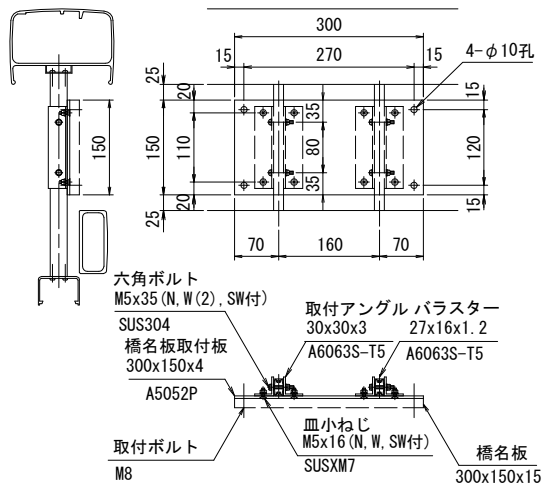


- 注記)
1. 補修工事に先立って、必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。
2. 施工数量については現地再確認を行ったうえ、監督員の承諾を得て決定すること。
3. 防護柵支柱のアンカー削孔の際は、コンクリート壁高欄の内鉄筋を切断しないように留意すること。

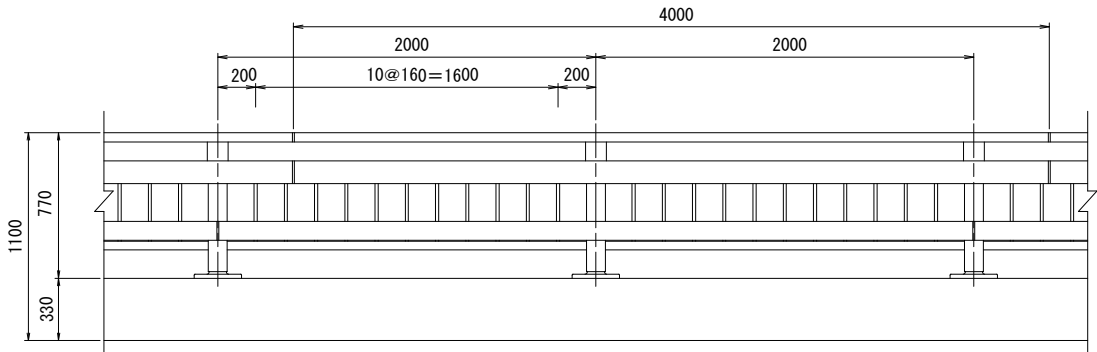
令和8年度			
工事名称	小金原橋補修工事		
工事箇所	松戸市小金原字六丁目地先		
図面種別	小金原橋 防護柵取替工図(その1)		
図面番号	全 12 葉の内第 9 号		
縮 尺	図示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

小金原橋 防護柵取替工図(その2)

橋名板取付板詳細 S=1:6



姿 図 S=1:20



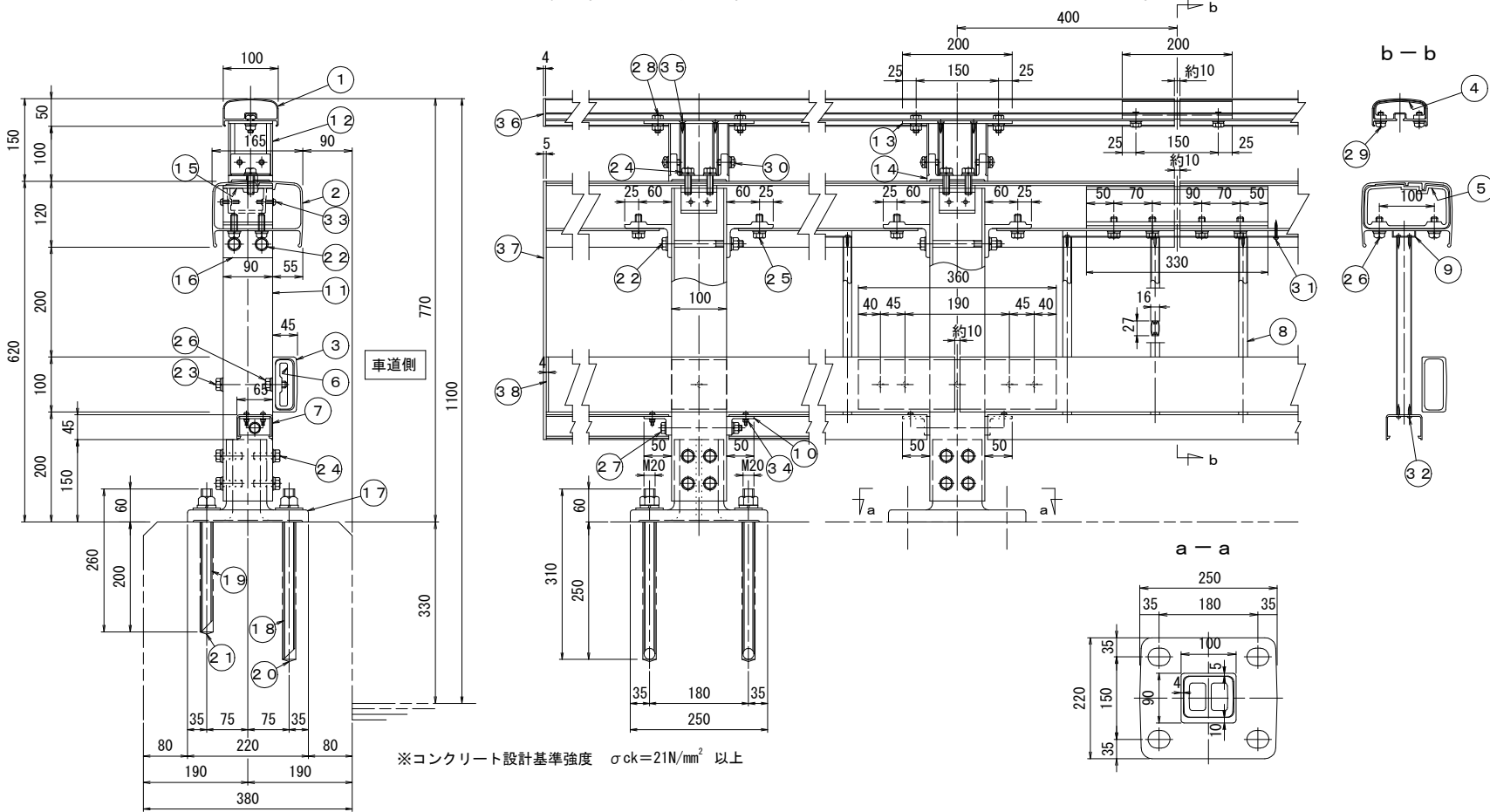
高欄兼用車両防護柵（種別C）組立詳細図 S=1:6

表面処理：アルマイト処理

端 部

通し部

継手部



※コンクリート設計基準強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

材 料 表

記 号	名 称	寸 法	長 さ	単位重量	1本 1ヶ	当り重量	員 数	重 量	材 質
1	笠 木	100x50x2/3	34462	1.67	kg/m	57.55	1	57.55	A6063S-T6
2	主要横梁	165x120x3.5	34458	5.49		189.17	1	189.17	A6061S-T6
3	下段横梁	100x45x6/3.5	34442	3.56		122.61	1	122.61	A6061S-T6
4	笠木スリーブ	92x34x2/7	200	1.47		0.29	9	2.61	A6063S-T6
5	主要横梁 スリーブ	154x81x4	330	6.17		2.04	9	18.36	A6061S-T6
6	下段横梁 スリーブ	90x32x10/6	100	4.94		0.49	12	5.88	A6061S-T6
7	継手用	90x32x10/6	360	4.94		1.78	9	16.02	A6061S-T6
8	ボトムレール	65x45x2/3	32238	1.06		34.17	1	34.17	A6063S-T5
9	バラスター	27x16x1.2	323	0.33		0.11	186	20.46	A6063S-T5
10	カバー	42x12x1.5	26485	0.31		8.21	1	8.21	A6063S-T5
11	ボトムレール ブラケット	34x50x4/10	55	1.35		0.07	42	2.94	A6063S-T5
12	支 柱	100x90x10 (5)/4	569	5.84		3.32	21	69.72	A6061S-T6
13	ポスト	80x110x3/3.5	95	3.76		0.36	21	7.56	A6061S-T6
14	トッププレート	90x200x5				0.24	21	5.04	A5052P-H34
15	ポストブラケット	80x110x50				0.40	21	8.40	AC7A-F
16	支柱キャップ	90x50				0.25	21	5.25	A6061S-T6
17	取付アングル	85x60x7				0.27	42	11.34	A6061S-T6
18	ベースボックス	250x220				9.80	21	205.80	FC0450 (Znメッキ)
19	アンカーボルト	M20x310	N, 特W, SW 付			0.79	42	33.18	SCM435 (Znメッキ)
20	アンカーボルト	M20x260	N, 特W, SW 付			0.67	42	28.14	SS400 (Znメッキ)
21	樹脂アンカー	M20用	埋込250mm用			—	42	—	樹脂剤
22	六角ボルト	M12x140	N, W (2), SW 付			0.17	42	7.14	SUS304
23	六角ボルト	M12x120	W, SW 付			0.13	21	2.73	SUS304
24	六角ボルト	M12x40	W, SW 付			0.06	210	12.60	SUS304
25	六角ボルト	M12x35	W, SW 付			0.06	84	5.04	A2-70 SUS
26	六角ボルト	M12x30	W, SW 付			0.05	108	5.40	SUS304
27	六角ボルト	M10x140	N, W (2), SW 付			0.12	21	2.52	SUS304
28	六角ボルト	M10x25	N, W, SW 付			0.04	42	1.68	SUS304
29	六角ボルト	M10x20	W, SW 付			0.03	36	1.08	SUS304
30	丸六角ボルト	M10x25	W, SW 付			0.04	84	3.36	SUS304
31	タッピンねじ	M4x30	W 付			0.003	182	0.55	SUSXM7
32	タッピンねじ	M4x20				0.002	744	1.49	SUSXM7
33	丸小ねじ	M6x30	W 付			0.01	84	0.84	SUSXM7
34	丸小ねじ	M5x20	N, W (2), SW 付			0.01	84	0.84	SUSXM7
35	血タッピンねじ	M6x20				0.01	84	0.84	SUSXM7
36	エンドプレート 笠木	100x50x4				0.05	4	0.20	A5052P
37	エンドプレート 通し	165/65x470x5				0.73	4	2.92	A5052P
38	エンドプレート 下段横梁	100x45x4				0.05	4	0.20	A5052P
合 計								901.84 kg	
高欄兼用車両防護柵長								34.568 m	26.09 kg/m

注) Nはナット、Wはワッシャー、SWはスプリングワッシャーを示す。

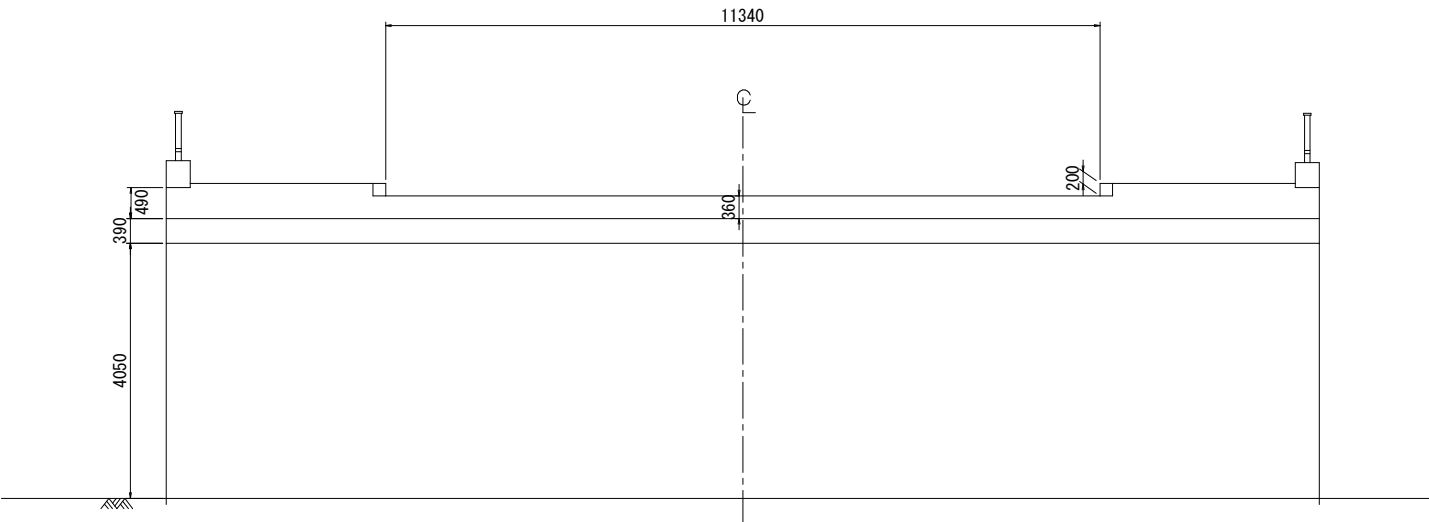
注記)

- 補修工事に先立って、必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。
- 施工数量については現地再確認を行ったうえ、監督員の承諾を得て決定すること。
- 防護柵支柱のアンカー削孔の際は、コンクリート壁高欄の内鉄筋を切断しないように留意すること。

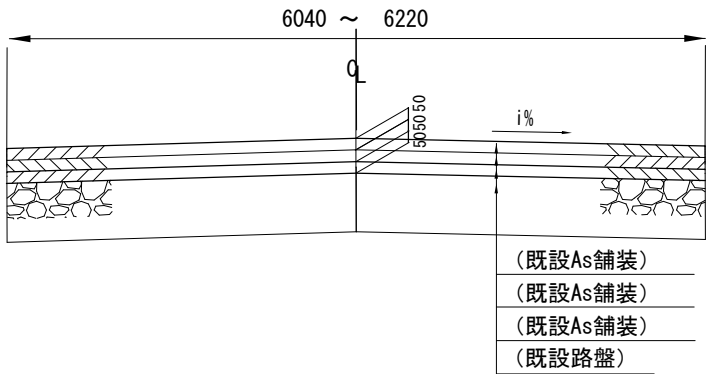
令和8年度			
工事名称	小金原橋補修工事		
工事箇所	松戸市小金原字六丁目地先		
図面種別	小金原橋 防護柵取替工図(その2)		
図面番号	全 12 葉の内第 10 号		
縮 尺	図示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

小金原橋 舗装工図 S=1:60

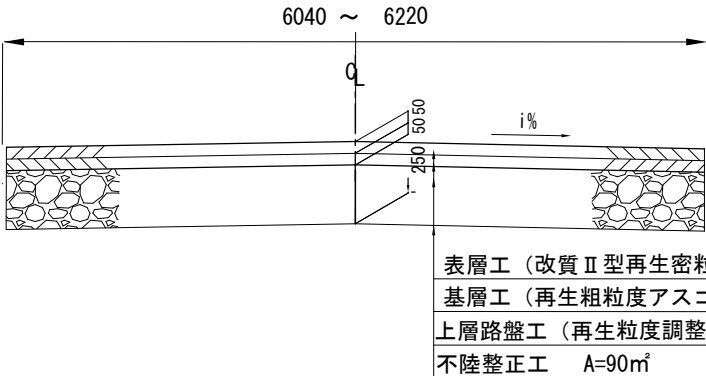
断面図



既設舗装構成 S=1/60

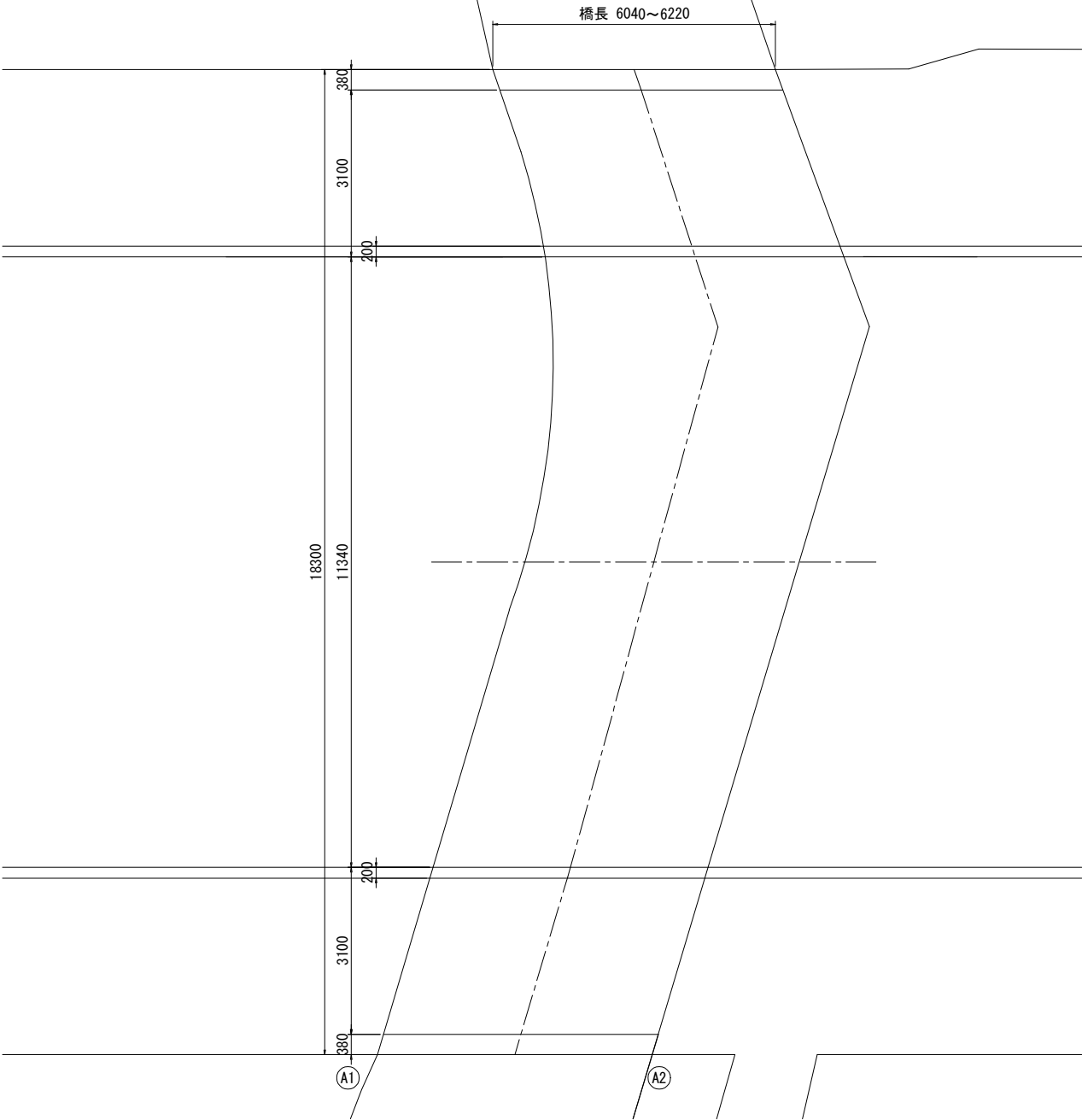


計画舗装構成 S=1/60



表層工 (改質Ⅱ型再生密粒度アスコン20) t=50mm PK-4 A=90m²
基層工 (再生粗粒度アスコン20) t=50mm PK-3 A=90m²
上層路盤工 (再生粒度調整碎石RM-30) t=250mm A=90m²
不陸整正工 A=90m²

平面図

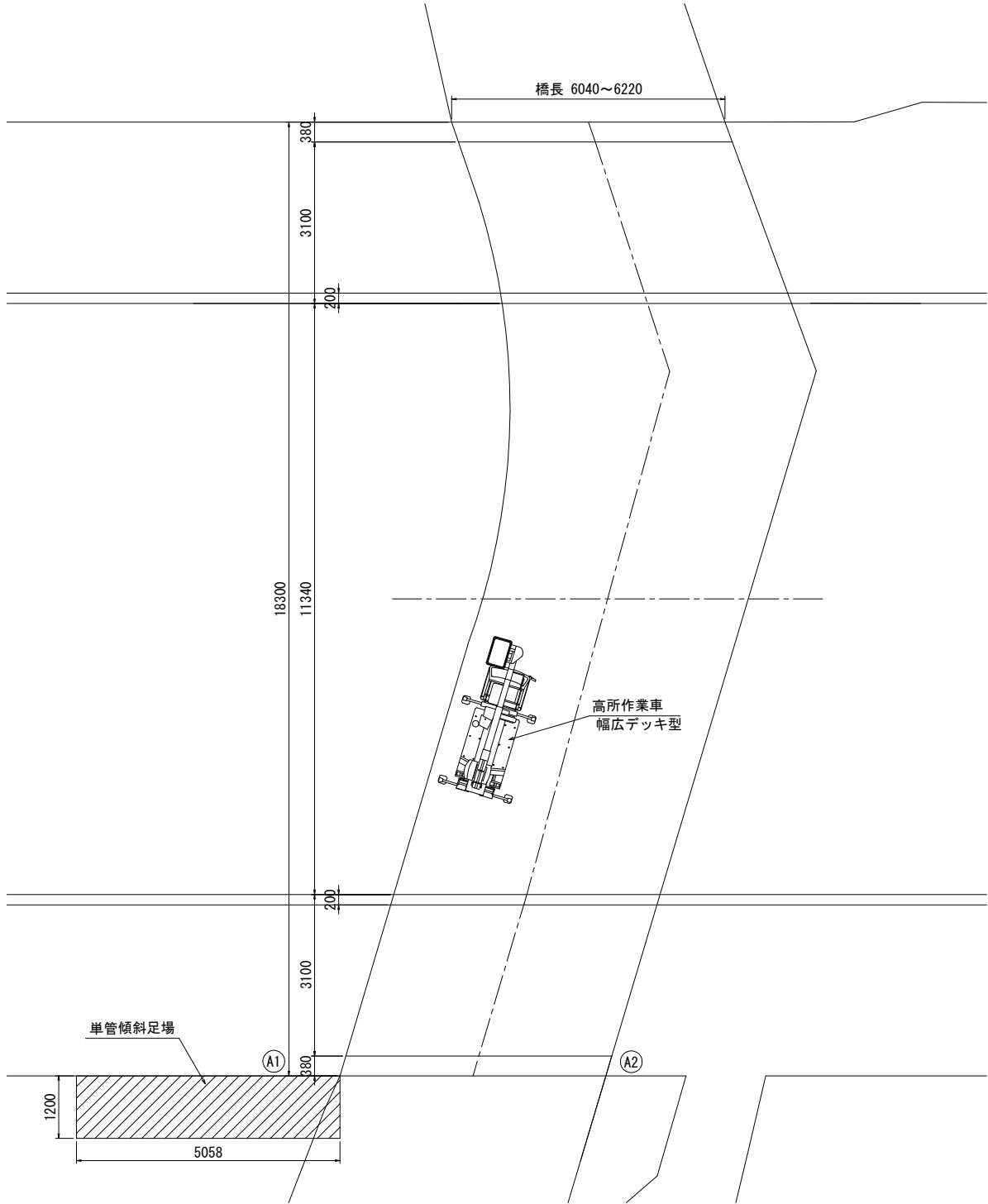


注記)
1.本図面は既存資料および本業務で実施した手動での計測結果を基に作成している。
2.補修工事に先立って、必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。

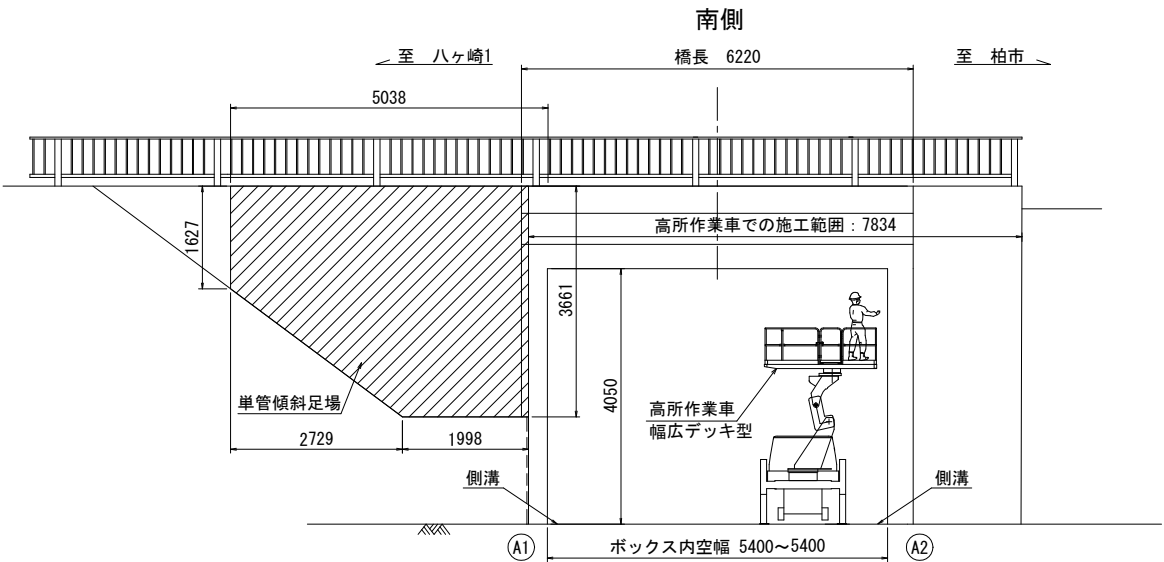
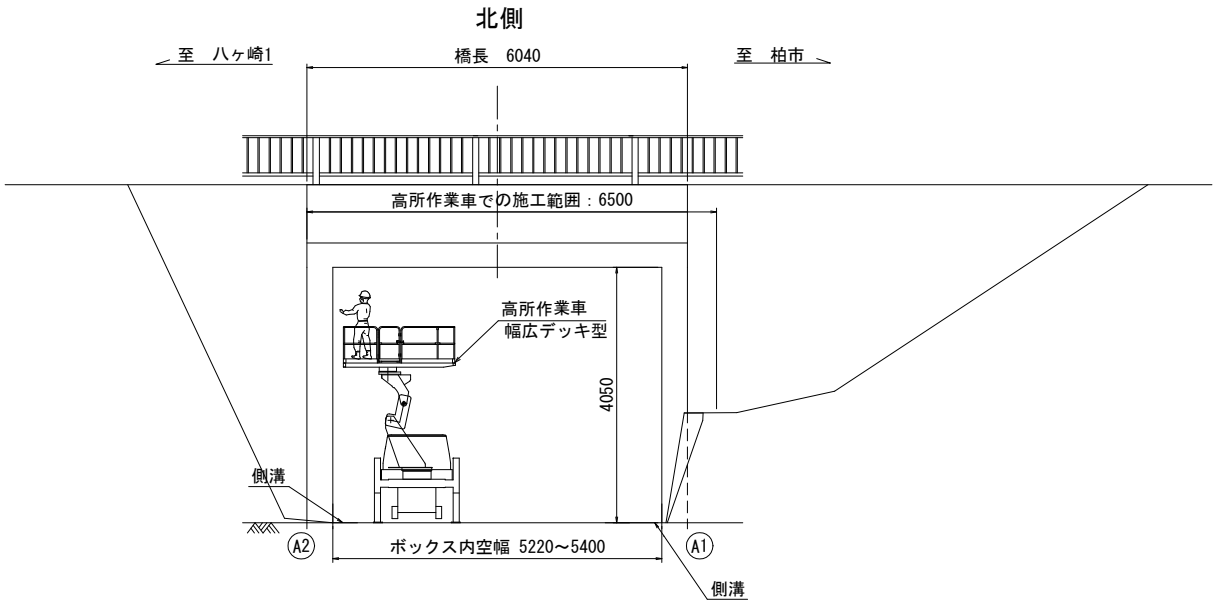
令和8年度			
工事名称	小金原橋補修工事		
工事箇所	松戸市小金原字六丁目地先		
図面種別	小金原橋 舗装工図		
図面番号	全 12 葉の内第 11 号		
縮 尺	図示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

小金原橋 施工計画図（参考図） S=1:60

平面図



側面図



数量表

工 種	仕 様	単位	数 量	備 考
単管傾斜足場		掛㎡	14.5	

注記)
1. 補修工事に先立って、必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。
2. 施工数量については現地再確認を行ったうえ、監督員の承諾を得て決定すること。

令和8年度			
工事名称	小金原橋補修工事		
工事箇所	松戸市小金原字六丁目地先		
図面種別	小金原橋 施工計画図(参考図)		
図面番号	全 12 葉の内第 12 号		
縮 尺	図示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			